

2021年3月期 決算説明会資料 本編

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2021年5月27日

目次

I. 業績概要	2
II. 取り組むべき7つの課題と対応	17
III. 東海東京証券の収益力の強化	20
IV. 4つの未来戦略	34
V. 経営計画 「New Age's Flag Bearer 5 ～新時代の旗手」を目指して	50
VI. SDGsへの取り組み	57
VII. 株主還元	60
VIII. 新時代の旗手に向かって	62

Ⅰ. 業績概要

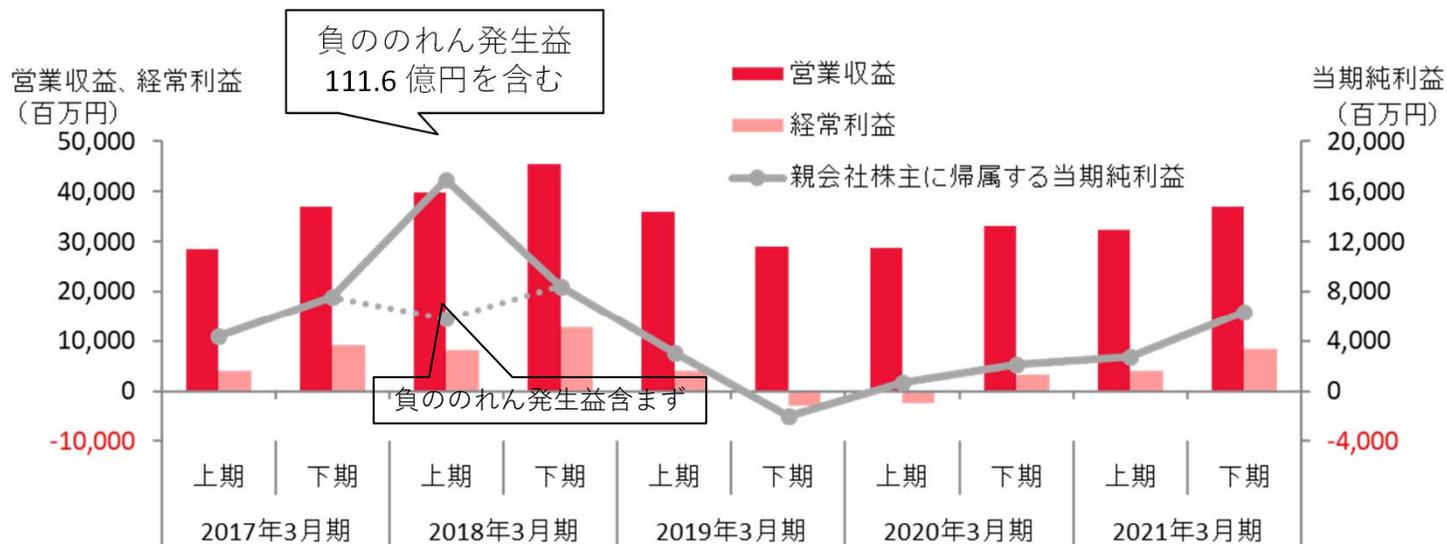
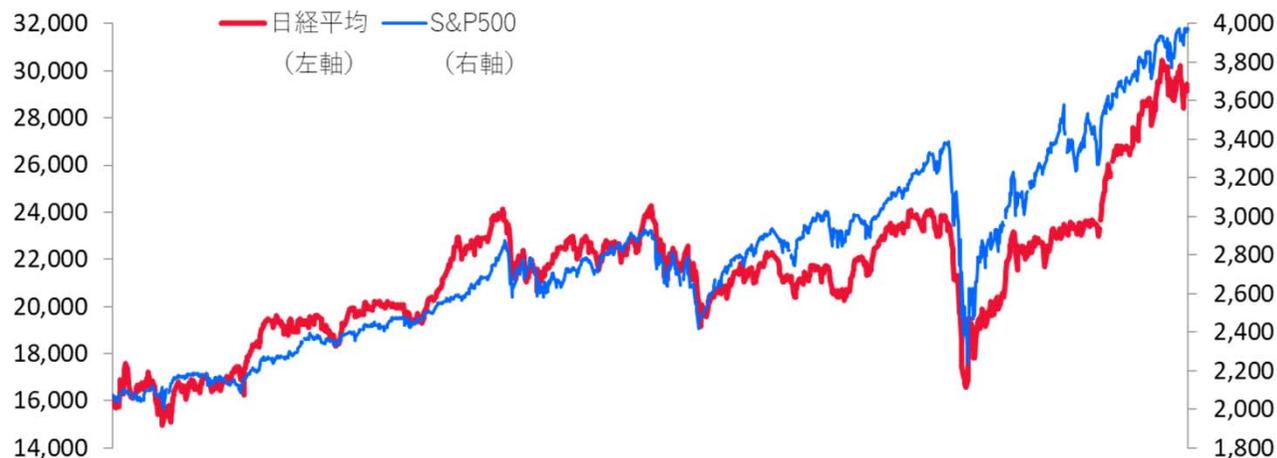
I. 業績概要

1. 業績推移

(連結) 半期ごと業績推移

日経平均株価 (円)

S&P500 (ポイント)

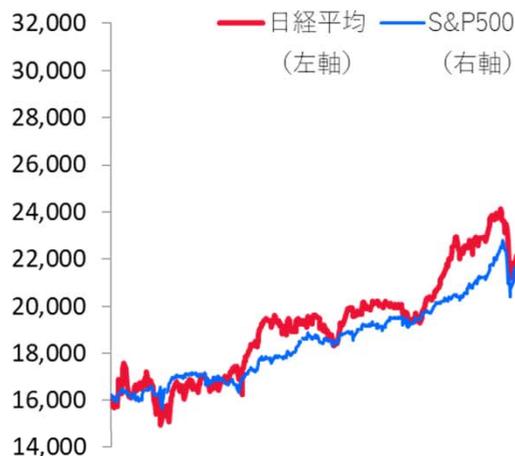


I. 業績概要

1. 業績推移

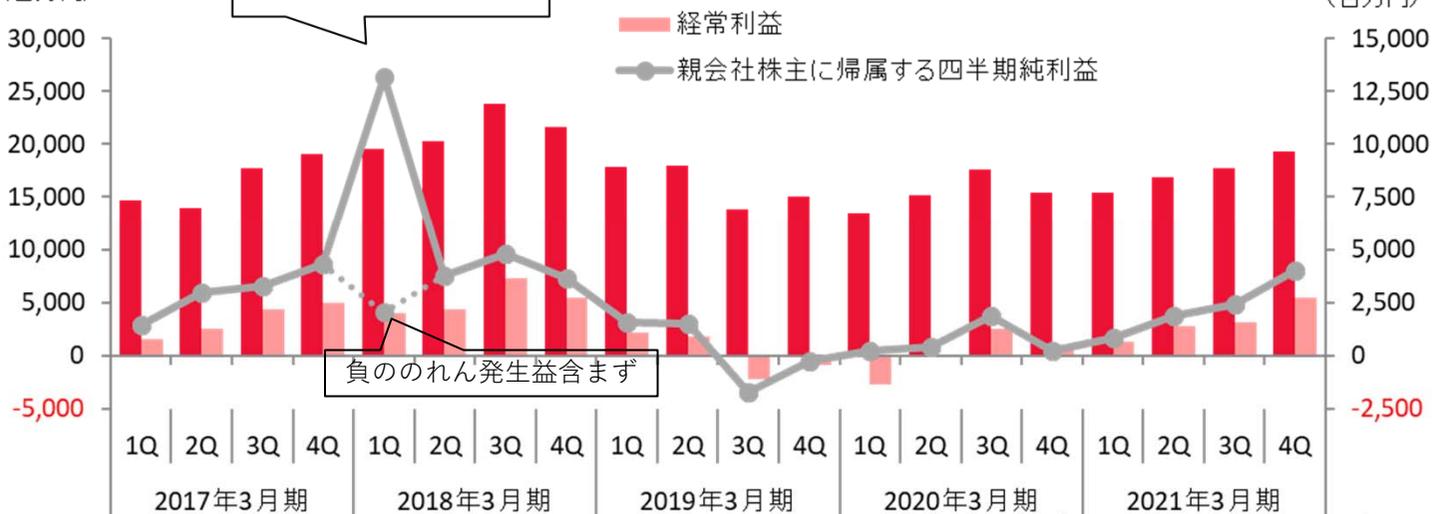
(連結) 四半期ごと業績推移

日経平均株価 (円)



S&P500 (ポイント)

営業収益、経常利益
(百万円)

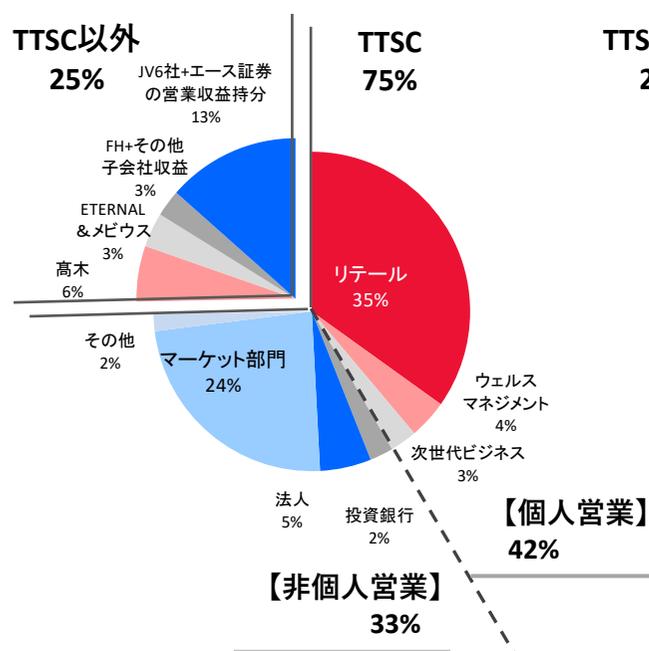


I. 業績概要

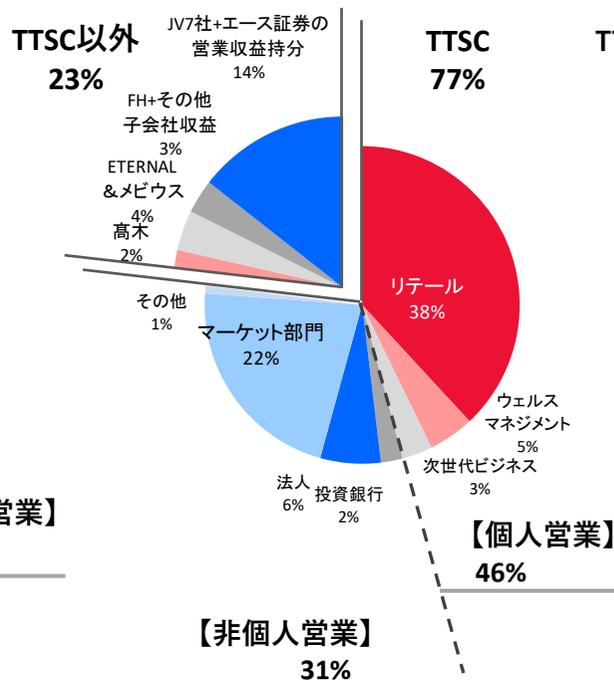
2. ビジネスの特徴と財務状況

比例合算による営業収益イメージ

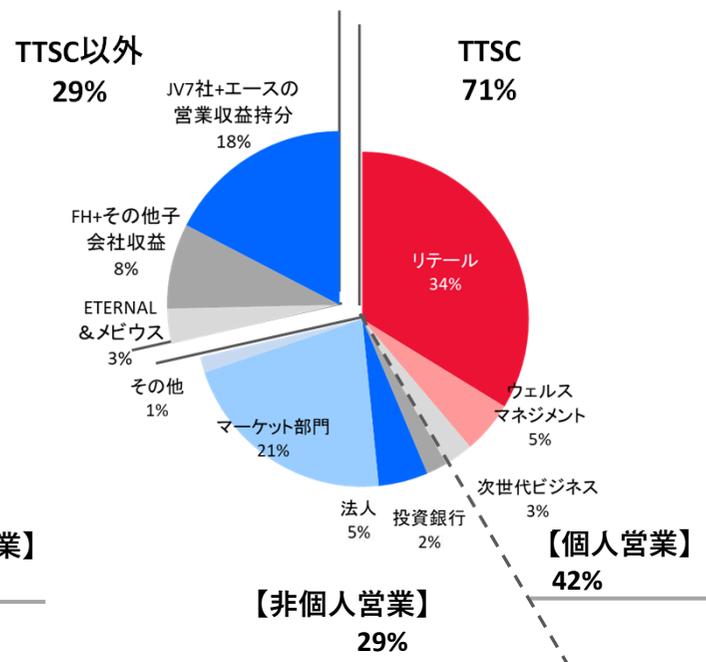
< 2019年3月期（通期）
連結営業収益64,772百万円 >



< 2020年3月期（通期）
連結営業収益61,694百万円 >



< 2021年3月期（通期）
連結営業収益69,362百万円 >



※ 持分法適用会社（提携合併証券およびエース証券）の収益を持分比率により合算することで、2019年3月期、2020年3月期および2021年3月期における当社グループ損益の源泉のイメージを提示するものであり、企業会計上の連結損益計算書とは異なります。

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

グループ各社別損益推移

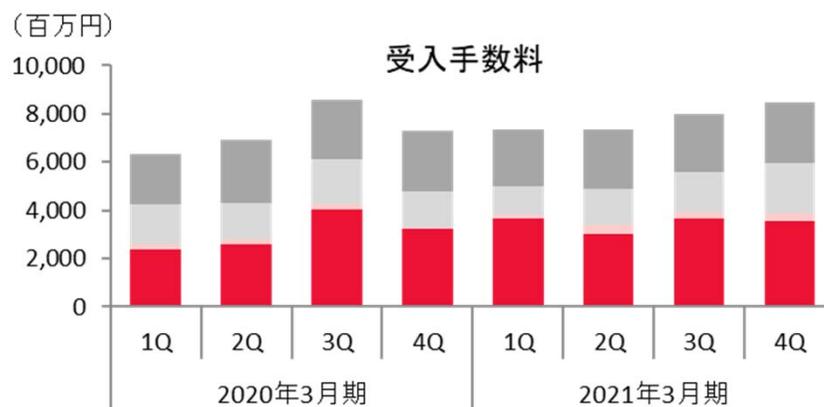
各社の損益状況 (百万円)	2020年3月期						2021年3月期					2020年 3月期 1年計累計 =100
	1Q	2Q	3Q	4Q	(うち3月)	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	
東海東京証券	-1,911	187	1,841	595	-390	713	-359	1,504	1,871	3,170	6,186	868
提携合併証券(JV)	-33	-54	178	41	-125	131	41	320	494	772	1,628	1,243
東海東京グローバル・インベストメンツ(TTGI)	25	169	426	-394	-398	226	1,135	591	804	894	3,424	1,515
高木証券	-497	-397	-	-	-	-894	-	-	-	-	0	-
保険(ETERNAL、メビウス)	-0	71	64	139	21	274	12	233	100	192	538	196
M&A(ピナクル、PTTS)	-5	36	-66	-59	-11	-94	360	-61	109	-64	343	-
その他	-245	121	82	385	378	344	94	155	-282	462	429	125
連結経常損益計	-2,666	133	2,525	707	-525	700	1,283	2,742	3,096	5,426	12,548	1,793

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴 (P/L費目別)

(連結) 受入手数料

(百万円)	2020年3月期					2021年3月期					前年同期比 2020年3月期 1年計累計=100
	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	
委託手数料	2,371	2,597	4,041	3,229	12,239	3,679	3,044	3,640	3,571	13,936	114
引受け・売出し等の手数料	231	201	202	67	702	151	329	266	328	1,076	153
募集・売出し等の取扱手数料	1,624	1,521	1,870	1,502	6,519	1,182	1,534	1,698	2,046	6,461	99
その他の受入手数料	2,126	2,602	2,494	2,486	9,710	2,331	2,418	2,407	2,542	9,700	100
受入手数料計	6,352	6,922	8,609	7,287	29,172	7,344	7,327	8,012	8,489	31,173	107



- その他の受入手数料
- 引受け・売出し等の手数料
- 募集・売出し等の取扱手数料
- 委託手数料

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴 (P/L費目別)

(連結) その他受入手数料 (半期毎)

(百万円)	2020年3月期			2021年3月期			前年同期比 2020年3月期 1年計累計=100
	上期	下期	1年計	上期	下期	1年計	
受益証券(投信代行手数料)	2,077	1,920	3,997	1,715	1,932	3,647	91
ラップ口座残高報酬	166	174	340	175	227	403	119
保険手数料	1,513	1,650	3,164	1,455	1,755	3,210	101
コンサルティング手数料(M&A等)	414	278	693	659	421	1,080	156
その他	558	959	1,516	746	614	1,360	90
その他の受入手数料計	4,728	4,981	9,710	4,750	4,949	9,700	100

(ご参考) 金融収益に含む
証券担保ローン受取利息

証券担保ローン残高と収益 (百万円)	2020年3月期		2021年3月期	
	上期	下期	上期	下期
短期貸付金(残高)	406	2,798	6,047	14,157
受取利息(収益)	2	15	28	59

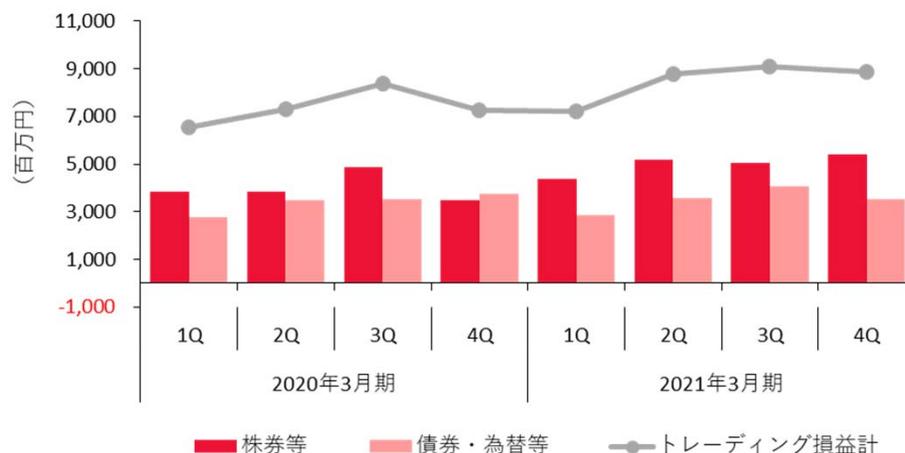
I. 業績概要

3. 財務から見た特徴 (P/L費目別)

(連結) トレーディング損益 ～エクイティスワップ損益を、「株式等」へ組み替え

(百万円)	2020年3月期					2021年3月期					前年同期比 2020年3月期 1年計累計 =100
	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	
株券等	3,815	3,836	4,878	3,489	16,020	4,375	5,190	5,062	5,389	20,014	125
国内株式・エクイティSW	148	88	458	1,024	1,718	39	601	713	-451 ^{※1}	902	53
外国株式	3,629	3,478	3,705	3,320	14,134	2,662	4,024	3,503	4,135	14,325	101
その他 (ファンド等)	38	269	713	-855	168	1,672	565	846	1,705	4,789	2,851
債券・為替等	2,747	3,469	3,520	3,749	13,489	2,858	3,587	4,042	3,503	13,993	104
国債	-399	86	156	632	475	467	341	194	234	1,238	261
公社債	487	495	227	270	1,481	366	431	310	236	1,345	91
外国債券・為替・デリバティブ	2,676	2,889	3,121	2,889	11,575	2,023	2,815	3,537	3,033	11,410	99
トレーディング損益計	6,564	7,306	8,400	7,239	29,510	7,234	8,778	9,104	8,893	34,008	115

(9,897)



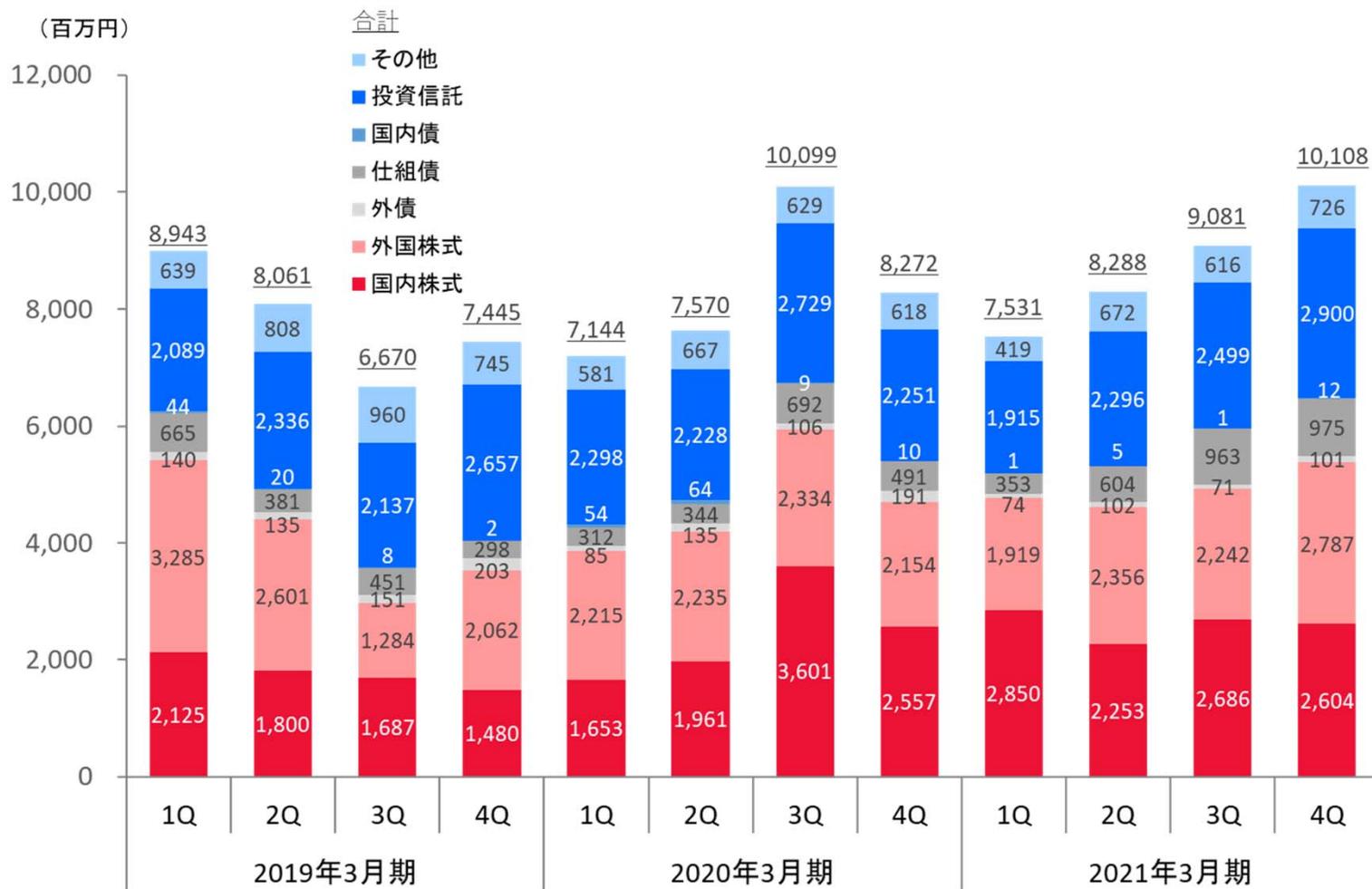
※1.プリンシパル取引に伴う期末保有株式において、配当権利落ちに伴う時価下落に対し、別途、配当分を「金融収益」として、1,004百万円計上。

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

(東海東京証券) 個人営業 商品別収益

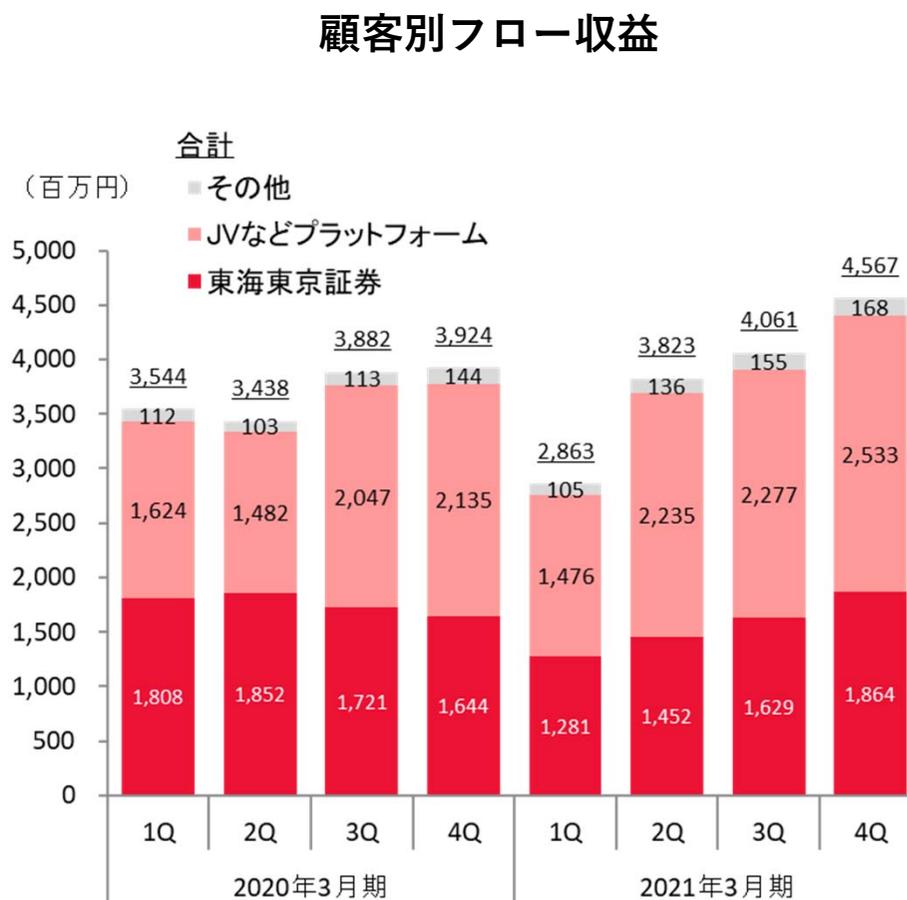
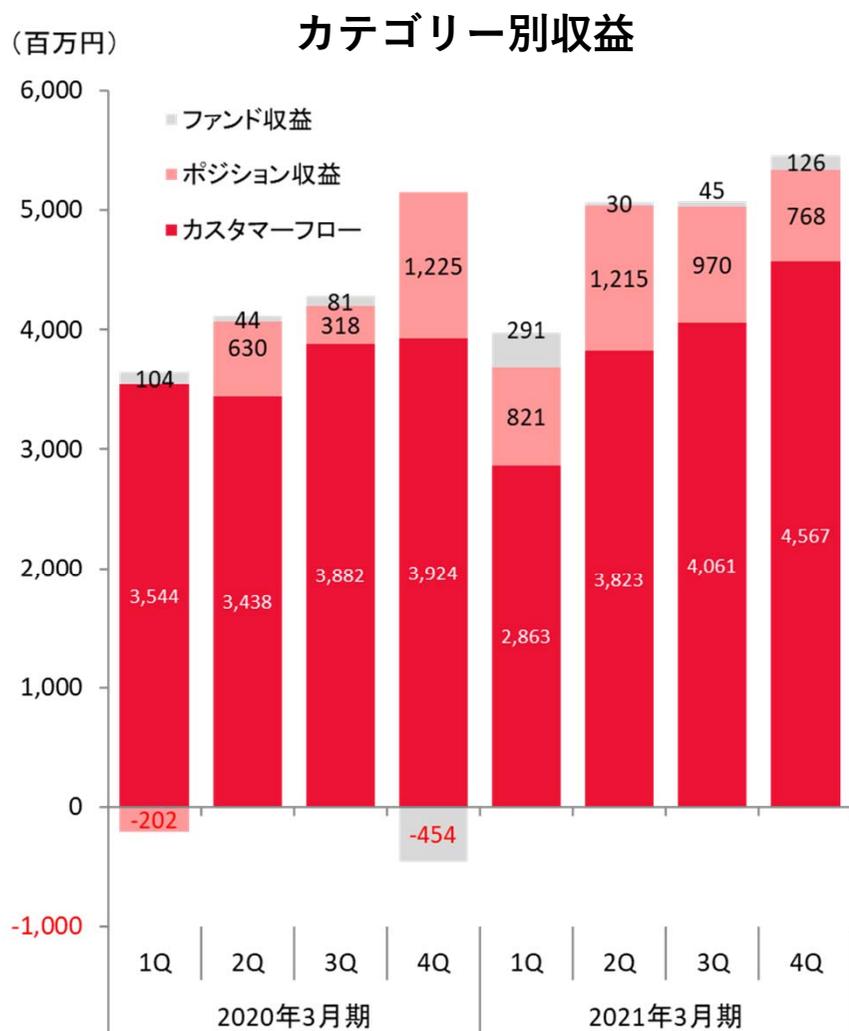
～「個人営業」は、ウェルスマネジメント、リテール、次世代ビジネス、IFAの合計として計上



I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

(東海東京証券) マーケット部門 収益構成

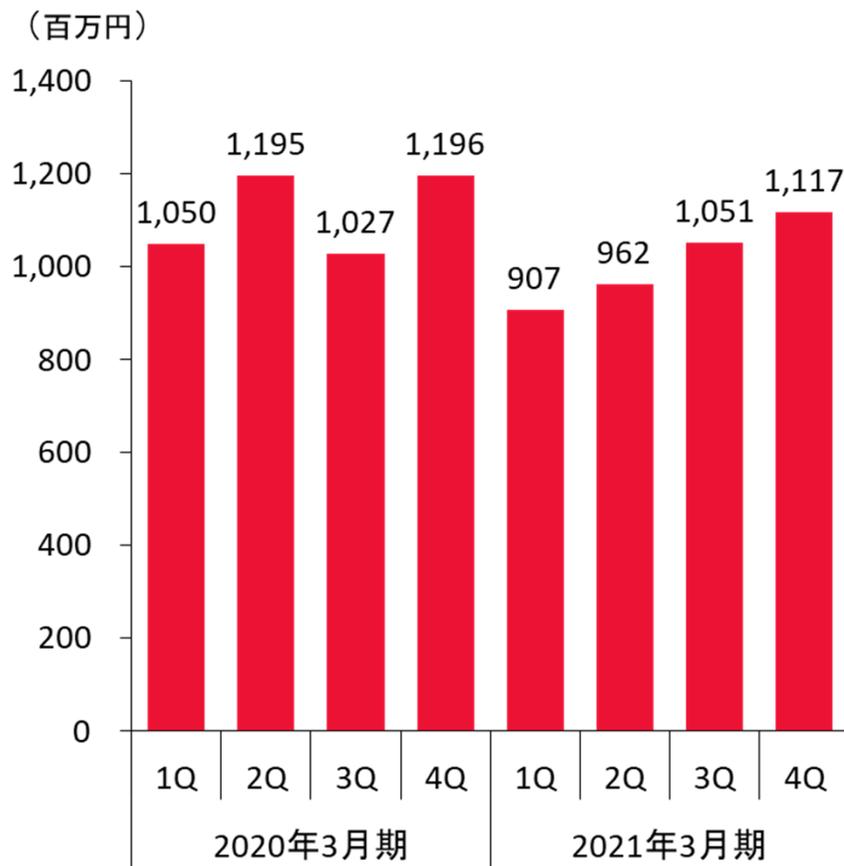


I. 業績概要

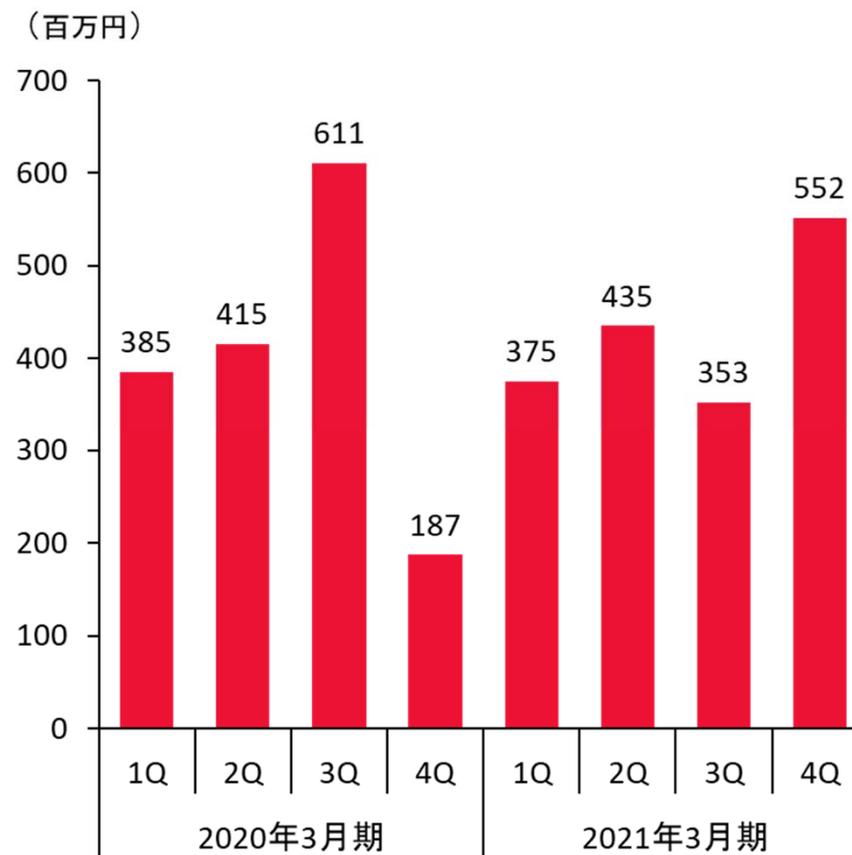
3. 財務から見た特徴

(東海東京証券) 法人ビジネス収益の推移

法人営業収益



投資銀行収益



※機関投資家取引を含む

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴（P/L費目別）

（連結）販売費及び一般管理費

（前年度比）

- ・取引関係費：営業収益拡大に伴う費用増加の一方、コロナ禍での出張費や広告宣伝費（イベント開催費等）が大きく減少。
- ・人件費：業績連動賞与が増加。反面、ジョブ型人事制度に伴う給与変動と制度移行時の一時手当の縮減、時間外勤務手当の減少を反映。
- ・事務費：前年度に計上した一過性のデータ移行費用（十六TT証券への営業店舗譲渡、高木証券の合併）が剥落。

（4Q実績の3Q比較）

- ・人件費：業績連動賞与の増加による。
- ・減価償却費：「顧客関連資産（広義ののれん）」の一部加算償却を計上。

	2020年3月期					2021年3月期					前年同期比 2020年3月期 1年計累計=100
	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	
取引関係費	2,867	2,709	2,955	2,853	11,386	2,147	2,546	2,747	2,768	10,210	90
人件費	7,412	6,728	6,873	6,814	27,827	6,590	6,810	6,925	7,175	27,501	99
不動産関係費	2,089	1,814	1,903	1,775	7,583	1,818	1,800	1,811	1,817	7,247	96
事務費	1,883	2,047	1,879	1,705	7,516	1,655	1,598	1,758	1,744	6,756	90
減価償却費	715	773	801	936	3,226	772	743	776	893	3,185	99
うちソフトウェア関連費	195	206	222	215	844	211	231	229	212	886	105
うち高木証券関連	19	23	-	-	42	-	-	-	-	-	-
その他	908	764	634	744	3,050	697	801	725	683	2,907	95
販売費・一般管理費計	15,875	14,837	15,048	14,830	60,591	13,681	14,299	14,743	15,083	57,808	95

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

(連結) 出資先の状況

(百万円)	2020年3月期					2021年3月期					前年同期比 2020年3月期 1年計累計=100
	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	1Q	2Q	3Q	4Q	1年計	
FinTech ^{※1}	-129	-135	-147	-135	-548	-165	-124	-116	-140	-547	100
保険 ^{※2}	-0	82	64	140	286	12	233	100	192	538	188
M&Aコンサルティング ^{※3}	-5	36	-66	-58	-94	360	-61	109	-64	343	-365

※1 お金のデザイン、Hash DasH Holdings の持分法投資損益 およびのれん償却額を合計

※2 ETERNAL、メビウスの経常損益を合計

※3 ピナクル、ピナクルTTソリューションの経常損益を合計 (2021年3月期1Qは大口案件成約)

(ご参考) お金のデザインにおける預かり資産推移

(出資時)

(百万円)

	2018年6月	2019年3月	2020年3月	2020年10月	2021年3月
預り資産計	29,181	42,038	64,999	93,009	125,450
THEO、THEO+	27,133	39,119	53,203	72,492	86,819
投資信託	2,048	2,919	11,796	20,517	38,631

* NAVで算出

I. 業績概要

3. 財務から見た特徴

(単位：億円)

グループ資本状況 (2021年3月末)

(単位：億円)



中核証券事業	中核証券機能を展開するための資本配賦	1,009
	グループ事業機能子会社への資本配賦	50
	持分法適用会社への資本配賦	144
計		1,203
デジタル事業	おかねのコンパス	6
	スマホ証券	8
	HashDasH	3
	本格展開後 (将来見込み)	計

【今後の資本活用】

期末配当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1株あたり@14円/配当利回り7.8% (年間平均株価ベース) ・ 配当性向 53.9% (ご参考) 年間配当額1株あたり@22円 (普通配当@18円、記念配当@4円) 	
計		35
成長投資	<p>《投資対象例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エース証券 (4月時点) 105⇔ (ご参考) エース証券 純資産額 208億円/2020年3月末 ・ M&A、出資～銀行、証券、Fintech、ブロックチェーン、地方創生 ・ ビジネス拡大～マーケット部門、富裕層、IFA、ローンビジネス ・ AI最先端技術 等 	
計		472

I. 業績概要

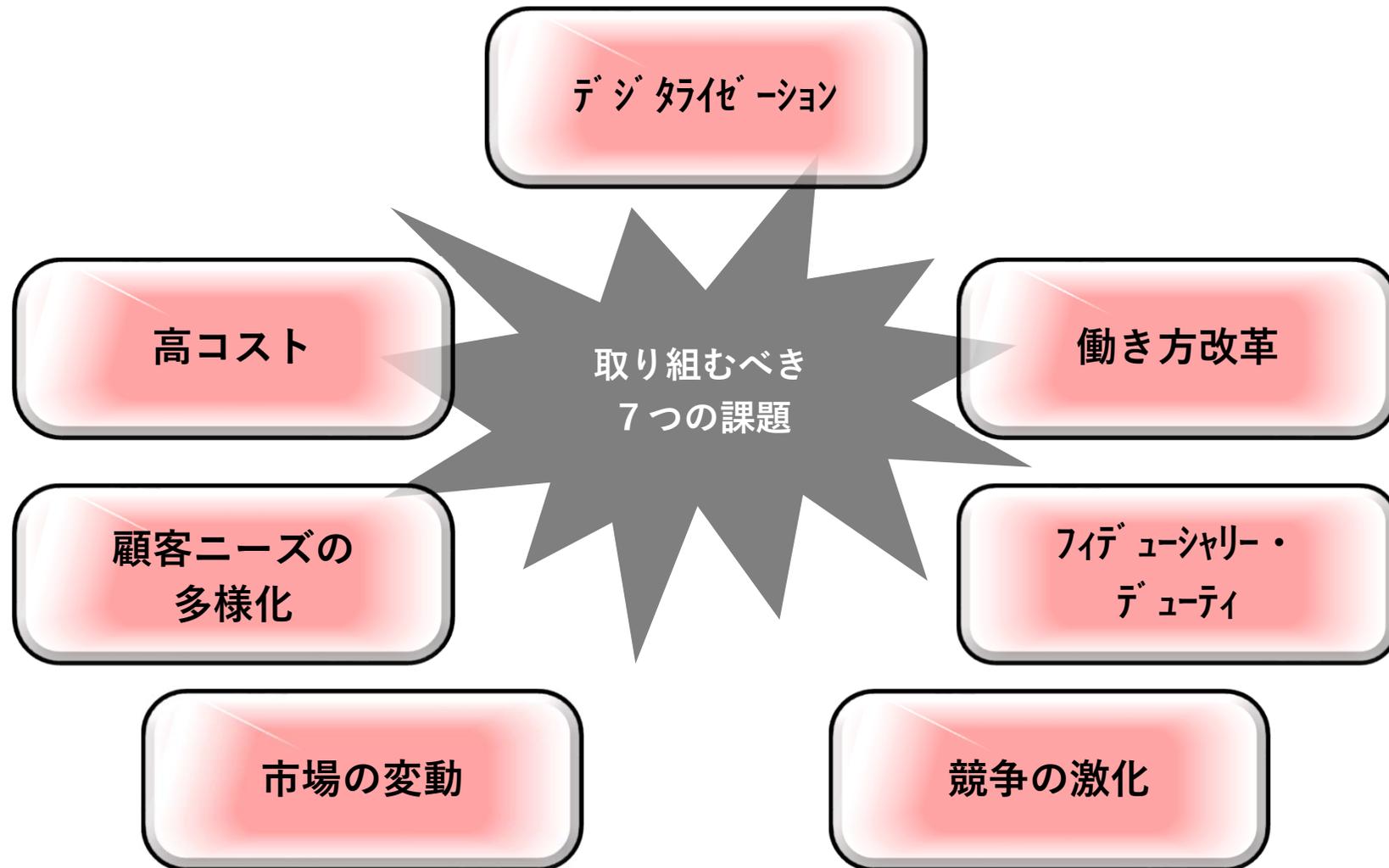
4. TTFG業績の総括



II.取り組むべき7つの課題と対応

II. 取り組むべき7つの課題と対応

1. 対面証券業における主な課題



II. 取り組むべき7つの課題と対応

2. ビジネス環境の変化に対する当社グループの対応

ビジネス環境の変化への対応

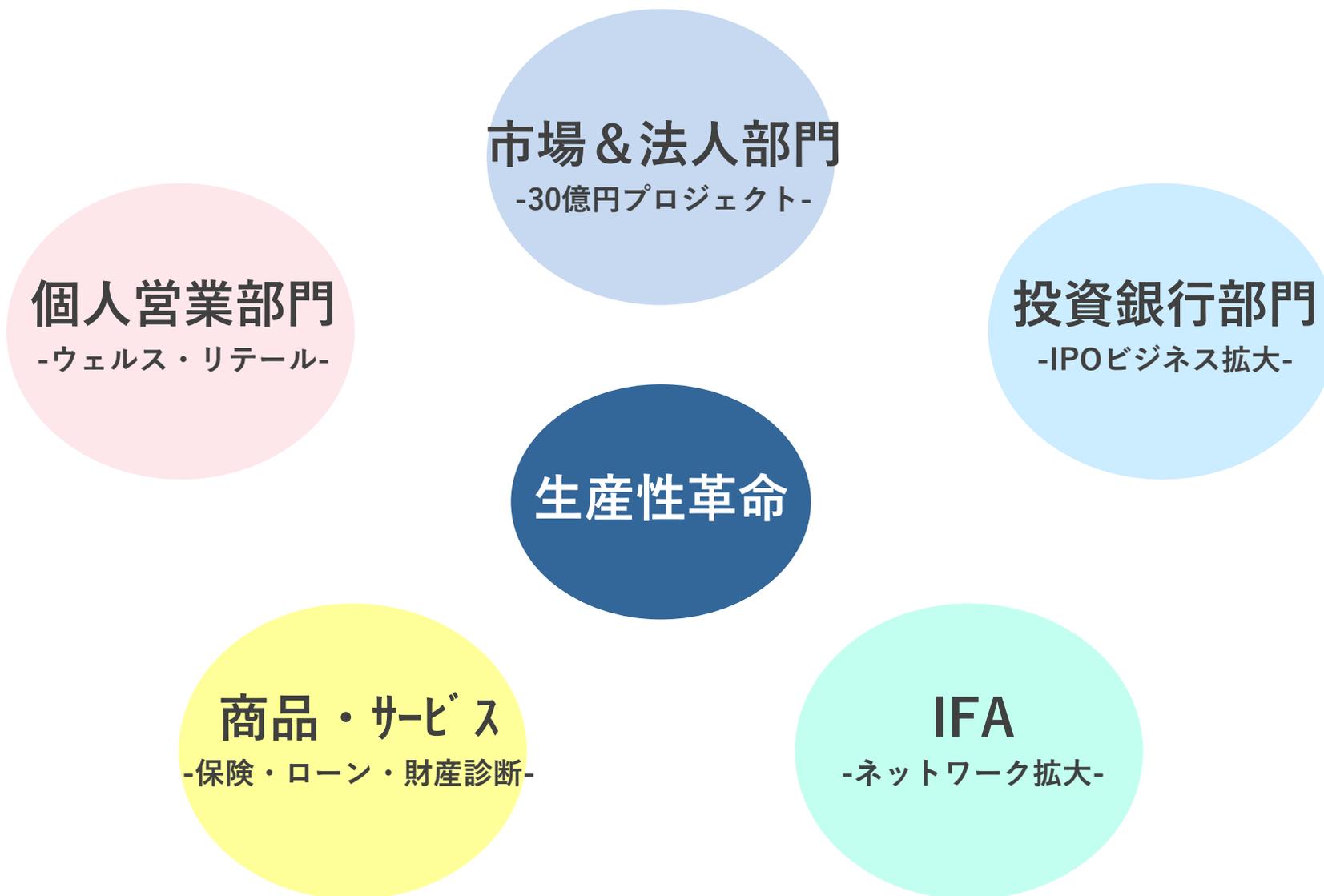
東海東京証券の
収益力強化

新しいビジネスモデルの
創生

III.東海東京証券の収益力の強化

III. 東海東京証券の収益力の強化

1. 全体像



III. 東海東京証券の収益力の強化

2. 市場&法人部門ー30億円プロジェクトー

月間営業収益30億円体制をめざす

ビジネスインフラ
および人材の増強

24時間トレーディング

商品の組成力・
供給力強化

外国株式フロー&収益

- ～営業体顧客への情報発信の充実
- ～オペレーションインフラの拡充
- ～取扱い銘柄の拡充

エクイティビジネス

- ～プリンシパル取引の強化
- 機関投資家との取引
- ～積極的イベント取引の推進
- ブロック取引の強化

仕組債フローの拡大

- ～内製化率の拡大
- ～外国株式の円建て取引拡大
- ～顧客チャネルの拡大

デリバティブ強化

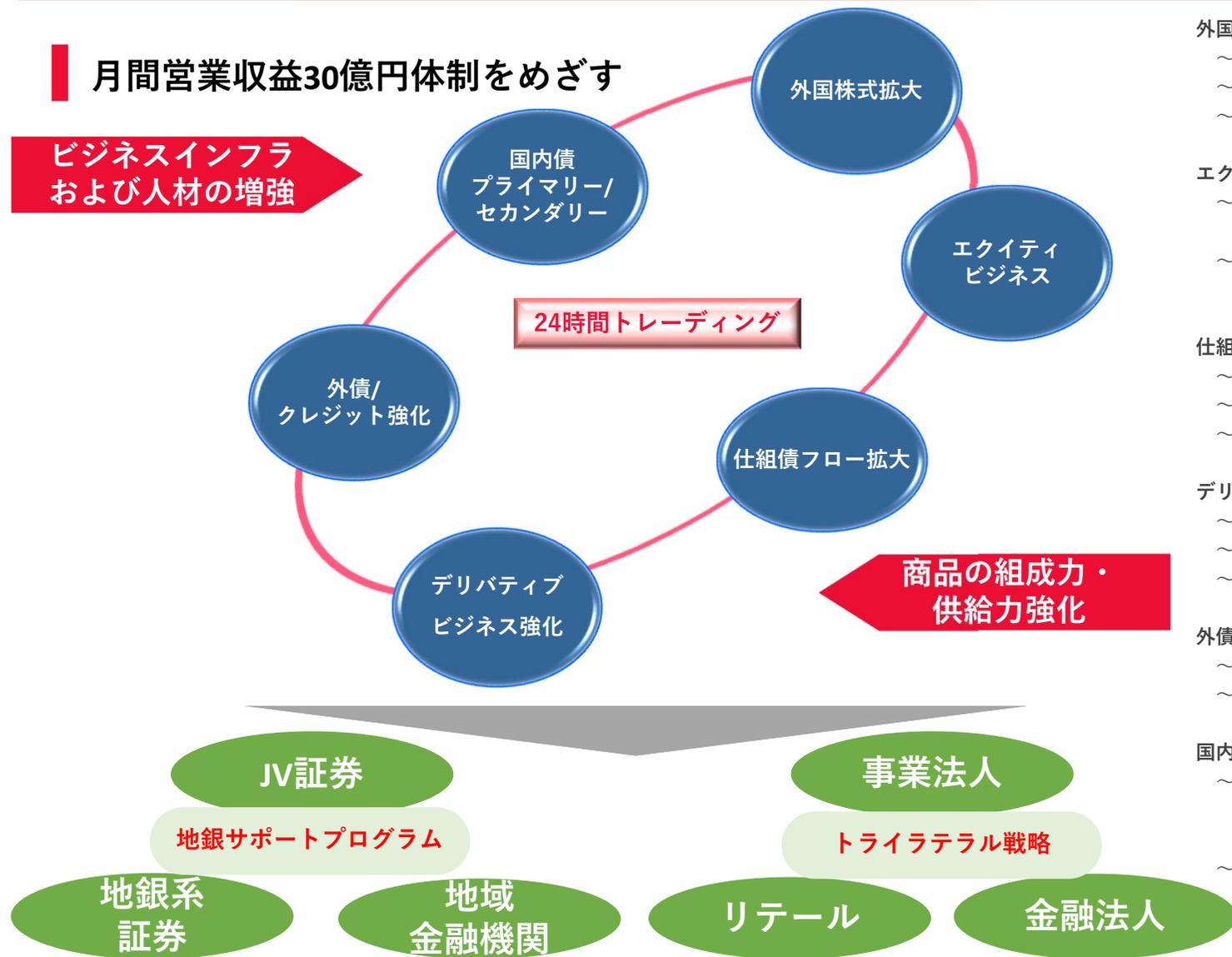
- ～社内の販売チャネルの拡充
- ～ビジネスマッチング先の拡大
- ～IFA業者との取扱い拡大

外債/クレジット強化

- ～取扱い銘柄の拡充
- ～体制強化、人材増強

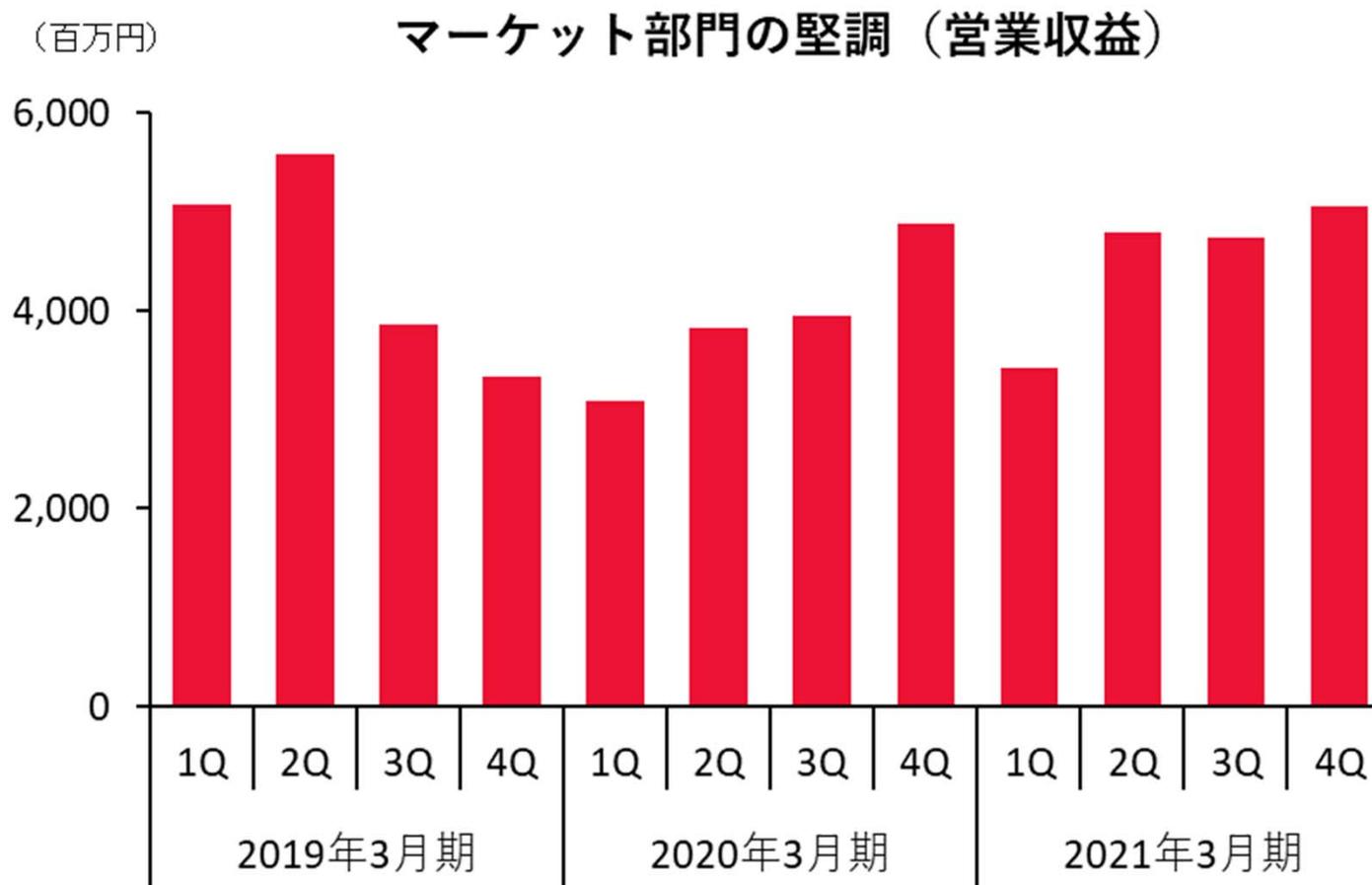
国内債 プライマリー/セカンダリー

- ～プライマリー部門との
コラボレーションによる引受金額
の拡大
- ～セカンダリー市場への対応拡大



III. 東海東京証券の収益力の強化

2. 市場&法人部門ー30億円プロジェクトー

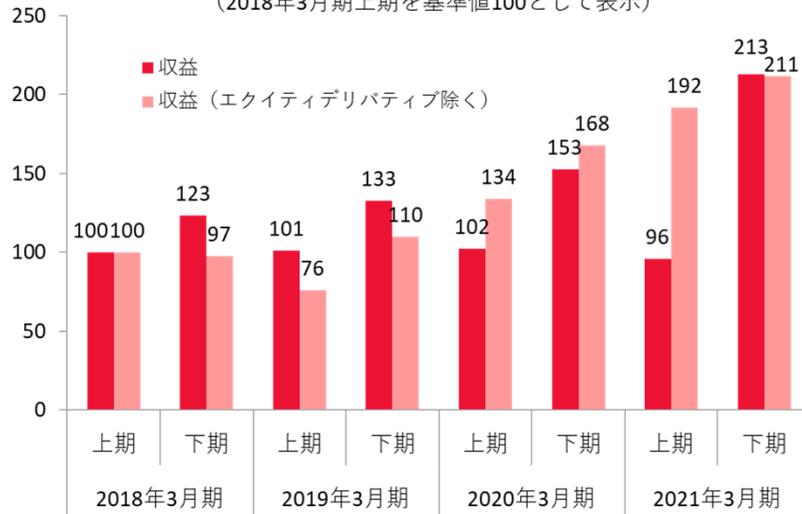


III. 東海東京証券の収益力の強化

2. 市場&法人部門ー30億円プロジェクトー

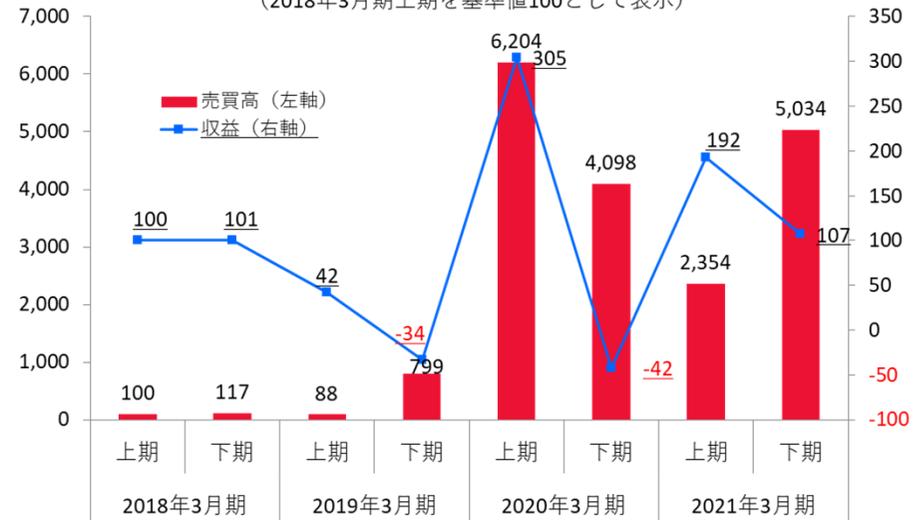
機関投資家営業部&エクイティ部収益

(2018年3月期上期を基準値100として表示)



株式ブロックバスケット取引

(2018年3月期上期を基準値100として表示)



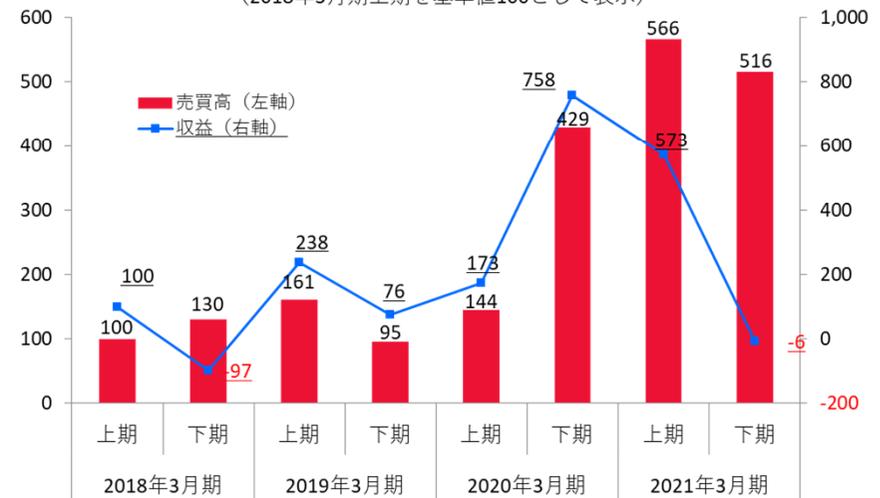
株式インデックス取引

(2018年3月期上期を基準値100として表示)



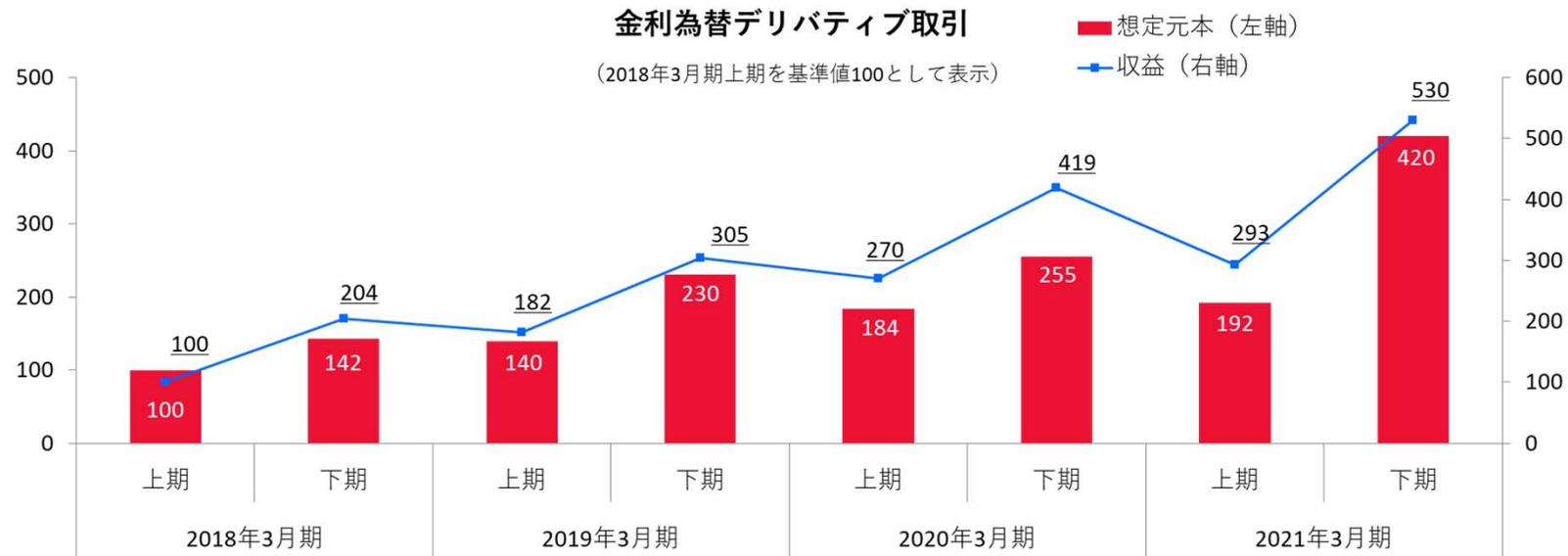
株式VWAP取引

(2018年3月期上期を基準値100として表示)



III. 東海東京証券の収益力の強化

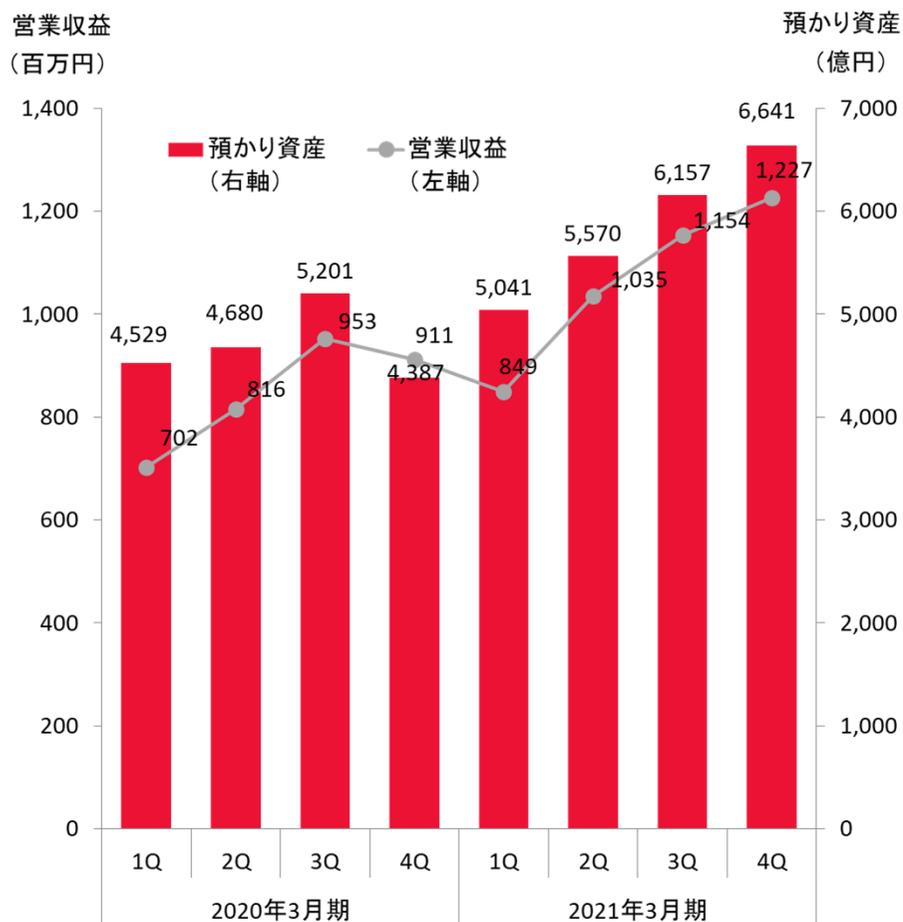
2. 市場&法人部門ー30億円プロジェクトー



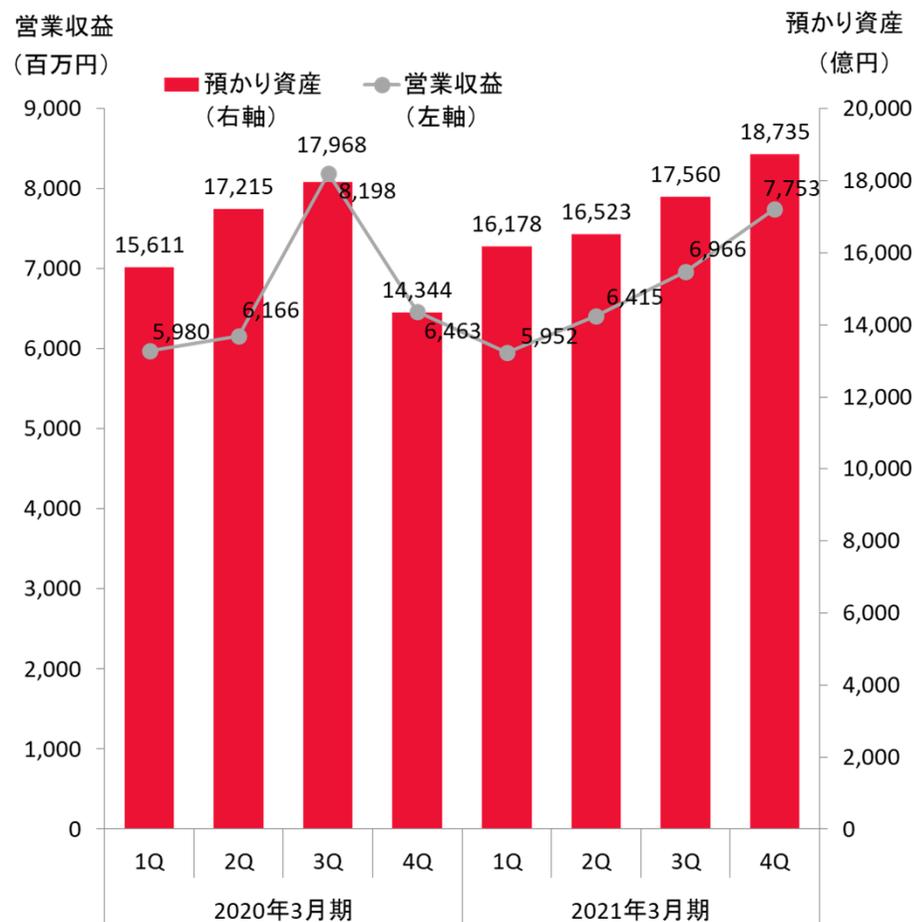
III. 東海東京証券の収益力の強化

3. 個人営業部門ーウェルス・リテールー

ウェルス部門/営業収益・預かり資産の推移
2019年4月～2021年3月



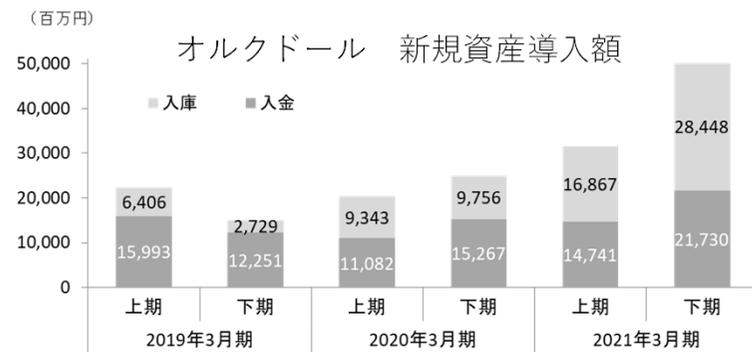
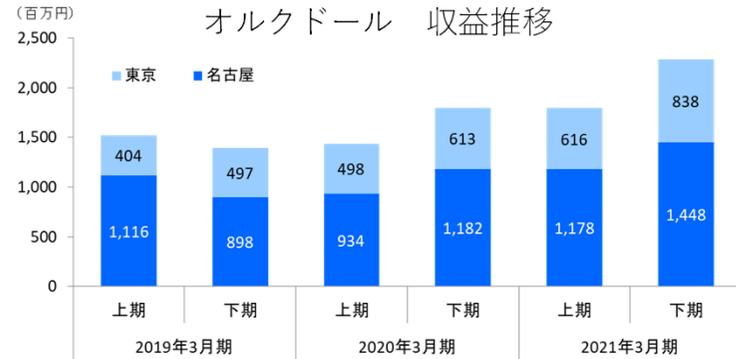
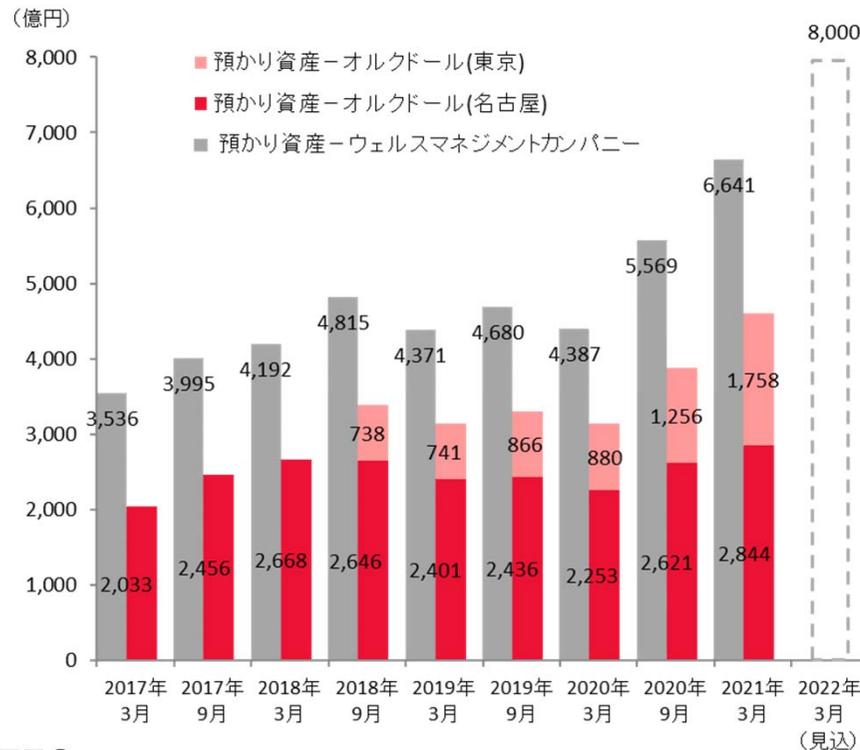
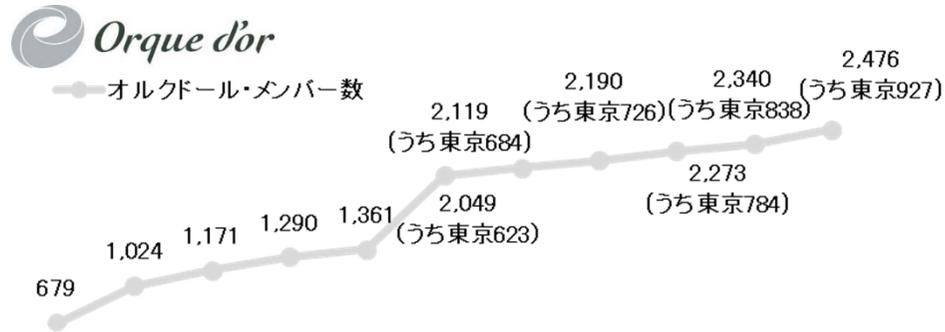
リテール部門/営業収益・預かり資産の推移
2019年4月～2021年3月



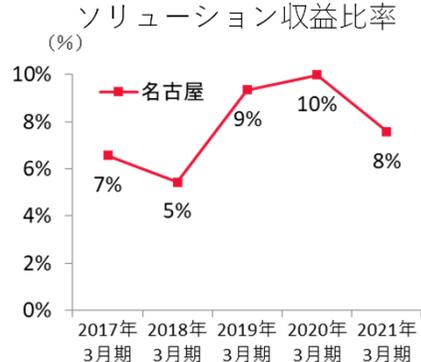
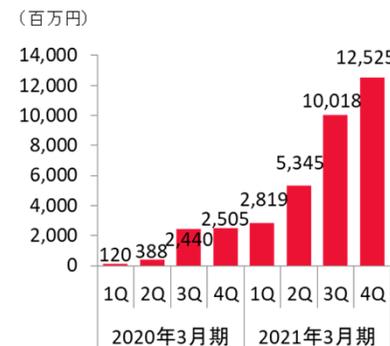
III. 東海東京証券の収益力の強化

3. 個人営業部門－ウェルス－

オルクドールメンバー数・預かり資産



ウェルスマネジメントカンパニー (ご参考)



III. 東海東京証券の収益力の強化

3. 個人営業部門－リテラー

顧客セグメント別アプローチの効果

預かり資産	稼働状況	2021/3末 口座数	口座数増減率 2020/9末 → 2021/3末	稼働口座増減率 (代行除く・手数料10万円以上) 2020年上期 → 2020年下期	収益増減率 2020年上期 → 2020年下期
A 1千万円以上	稼働	13.5千	+ 20.3%	+ 13.9%	+ 27.4%
B 1千万円以上	未稼働	31.0千	+ 5.6%	+ 73.4%	+ 65.7%
C 1千万円未満	稼働	3.5千	▲ 7.9%	▲ 32.3%	▲ 43.4%
D 1千万円未満	未稼働	90.0千	▲ 6.9%	+ 8.1%	+ 10.0%
A~Dセグメント総収入					+ 23.0%

2021年3月末口座数

138千口座

2020年下期稼働口座数
(代行除く・手数料10万円以上)

17千口座

2020年下期総収入

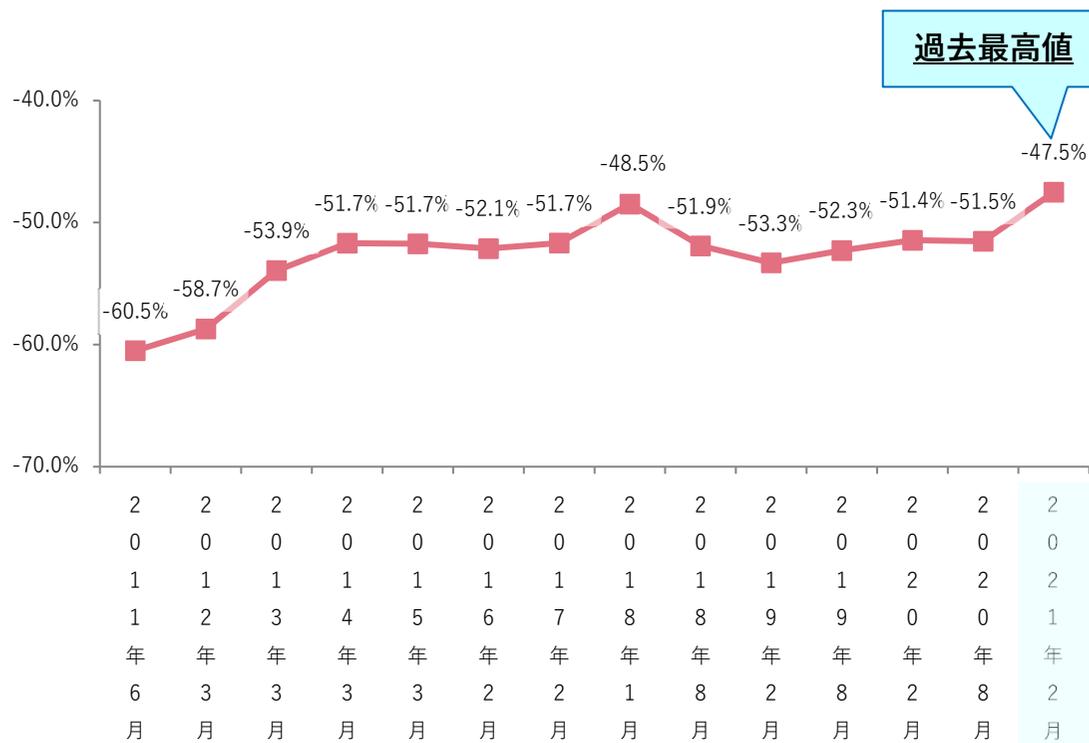
148億円

※セグメント定義の未稼働は半年間の手数料10万円未満

III. 東海東京証券の収益力の強化

3. 個人営業部門ーリテールー

NPS調査（当社全体の推移）



* 当社全体のNPSは-47.5%で、前回（2020年8月）と比較して4.0ポイント向上し、当社全体のNPSは、2011年に算出を始めて以来の最高値を更新しました。

部店別NPS

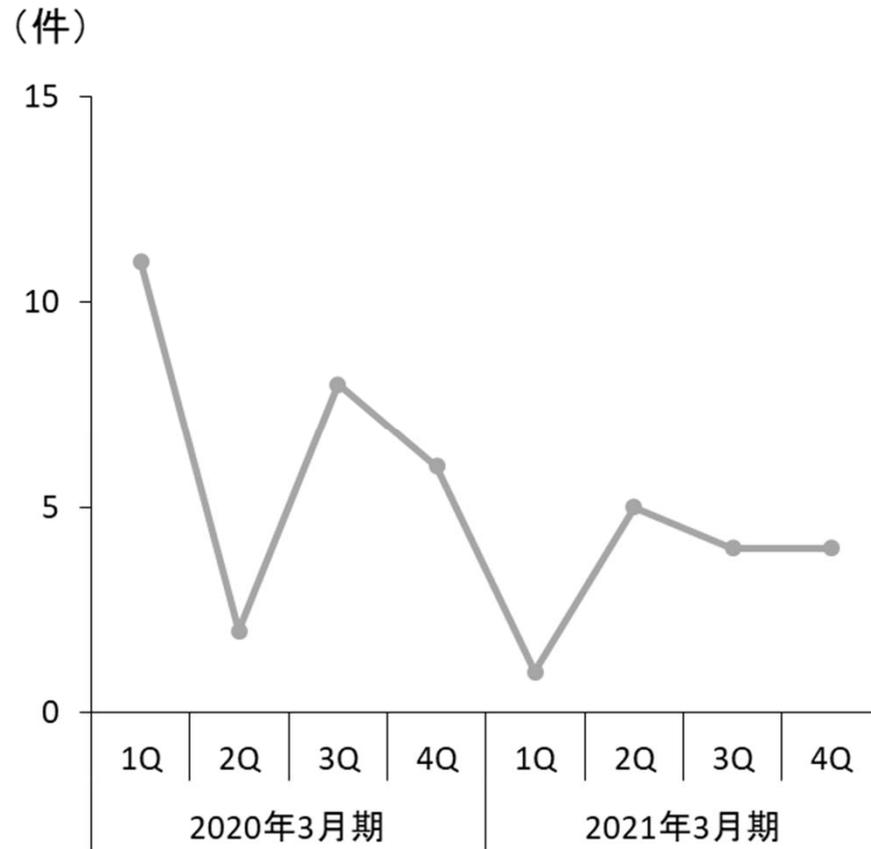
部店名	NPS	順位
東京オルクドール二部	-0.9%	1
オルクドール一部	-9.6%	2
東京オルクドール一部	-17.7%	3
オルクドール二部	-22.9%	4
A支店	-24%	5
東京オルクドール三部	-27%	6
B支店	-29.5%	7
オルクドールメディカル部	-29.7%	8
C支店	-37.9%	9
D支店	-38%	10
顧客セグメントA	-22.5%	-

* 2021年2月NPS調査

III. 東海東京証券の収益力の強化

4. 投資銀行部門ーIPOビジネス拡大ー

IPO引受件数：四半期ごとの推移



IPO引受額ランキング 2020年4月～2021年3月

順位	引受会社	件数	金額 (百万円)	シェア (%)
1	大和	44	68,107	21.7
2	SMBC日興	47	64,760	20.7
3	野村	41	62,361	19.9
4	みずほ	58	52,405	16.7
5	SBI	80	33,704	10.8
6	三菱UFJ MS	19	6,312	2.0
7	モルガン・スタンレー	1	4,711	1.5
8	いちよし	30	3,630	1.2
9	クレディ・スイス	4	3,393	1.1
10	楽天	43	2,227	0.7
11	UBS	2	2,141	0.7
12	東海東京	12	1,802	0.6

※キャピタルアイより弊社作成

地方債引受額ランキング 2020年4月～2021年3月

順位	引受会社	件数	金額 (百万円)	シェア (%)
1	野村	103	625,823	22.4
2	SMBC日興	91	488,894	17.5
3	大和	88	481,372	17.2
4	みずほ	78	434,694	15.5
5	三菱UFJ MS	73	417,064	14.9
6	ゴールドマン・サックス	17	127,293	4.6
7	東海東京	23	109,929	3.9
8	岡三	6	38,200	1.4
9	BNPパリバ	4	25,567	0.9
10	しんきん	5	24,200	0.9

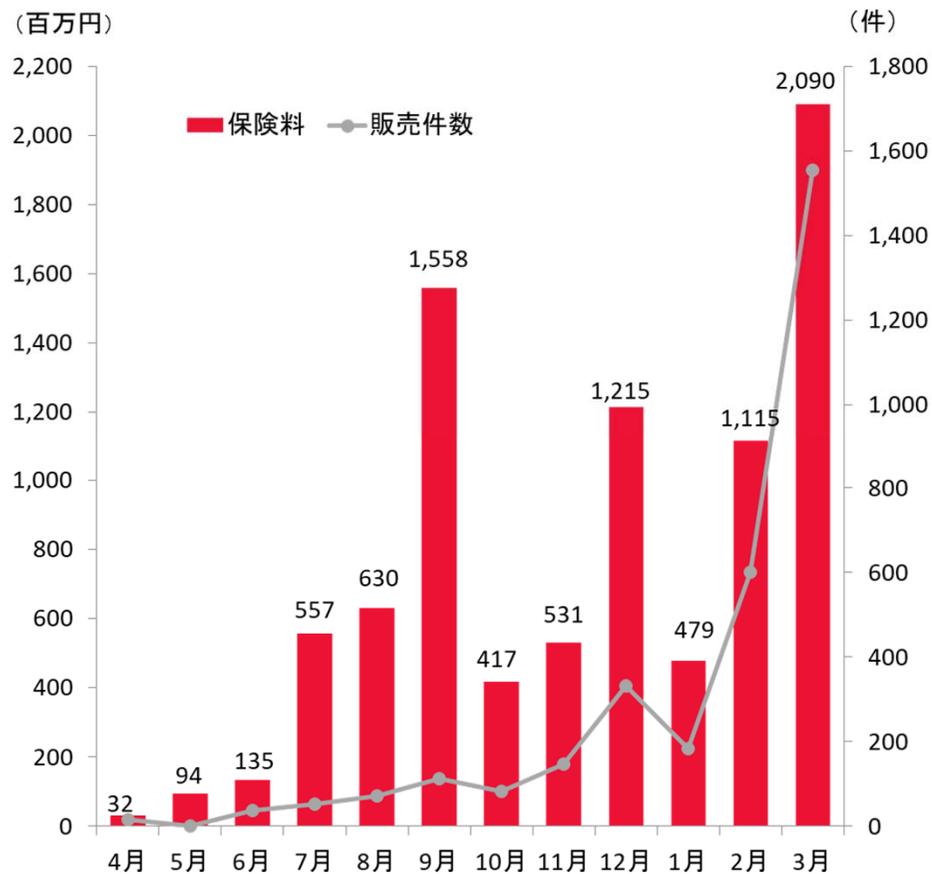
※トムソンロイターより弊社作成

III. 東海東京証券の収益力の強化

5. 商品・サービスー保険・ローン・財産診断

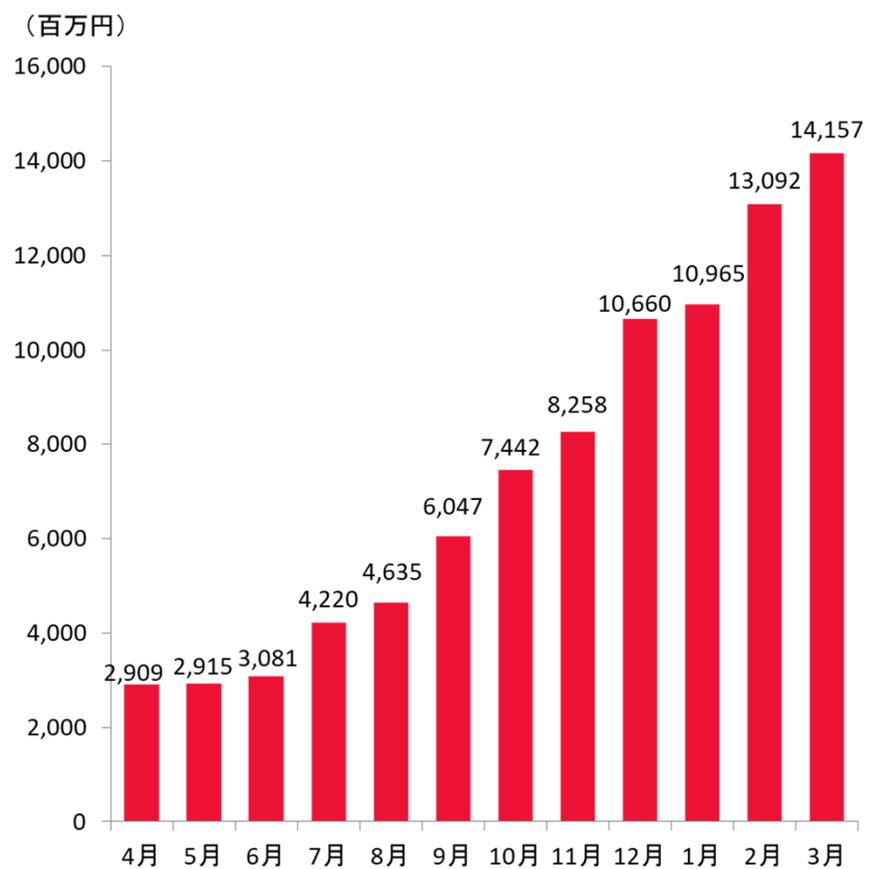
保険販売実績の推移

2020年4月～2021年3月



証券担保ローン融資残高の推移

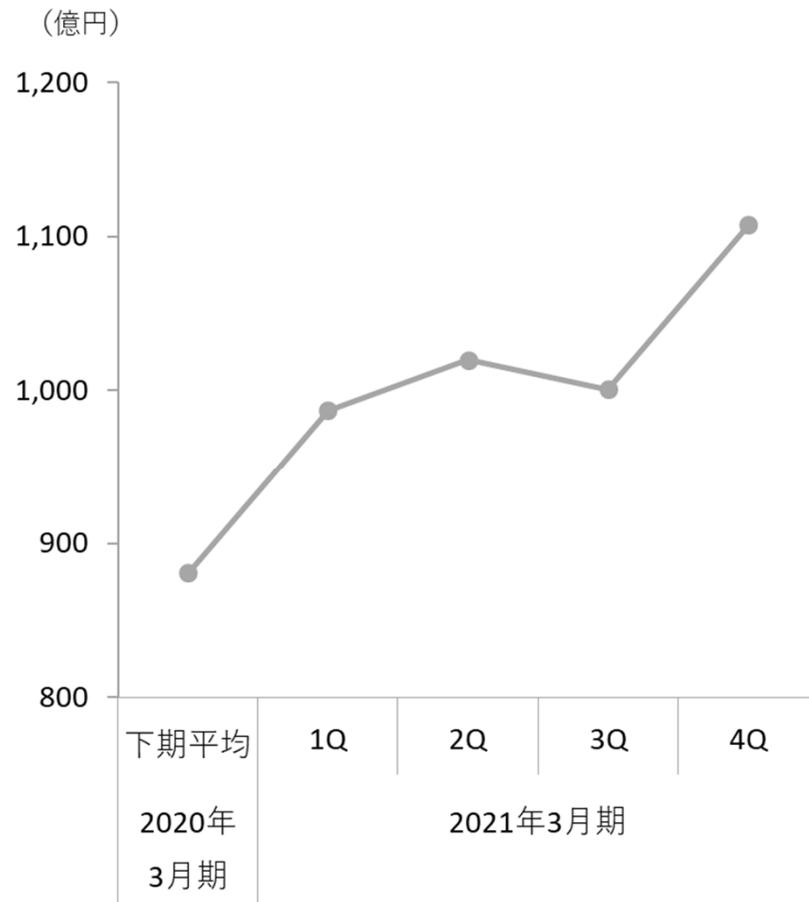
2020年4月～2021年3月



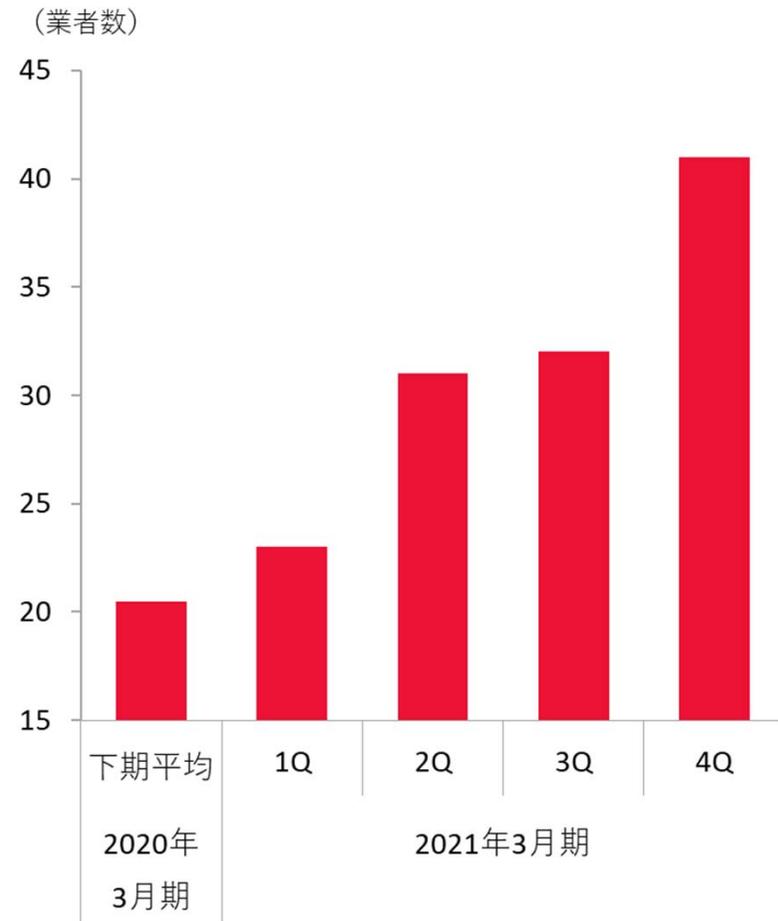
III. 東海東京証券の収益力の強化

6. IFA-ネットワーク拡大

IFA部門の預かり残高推移

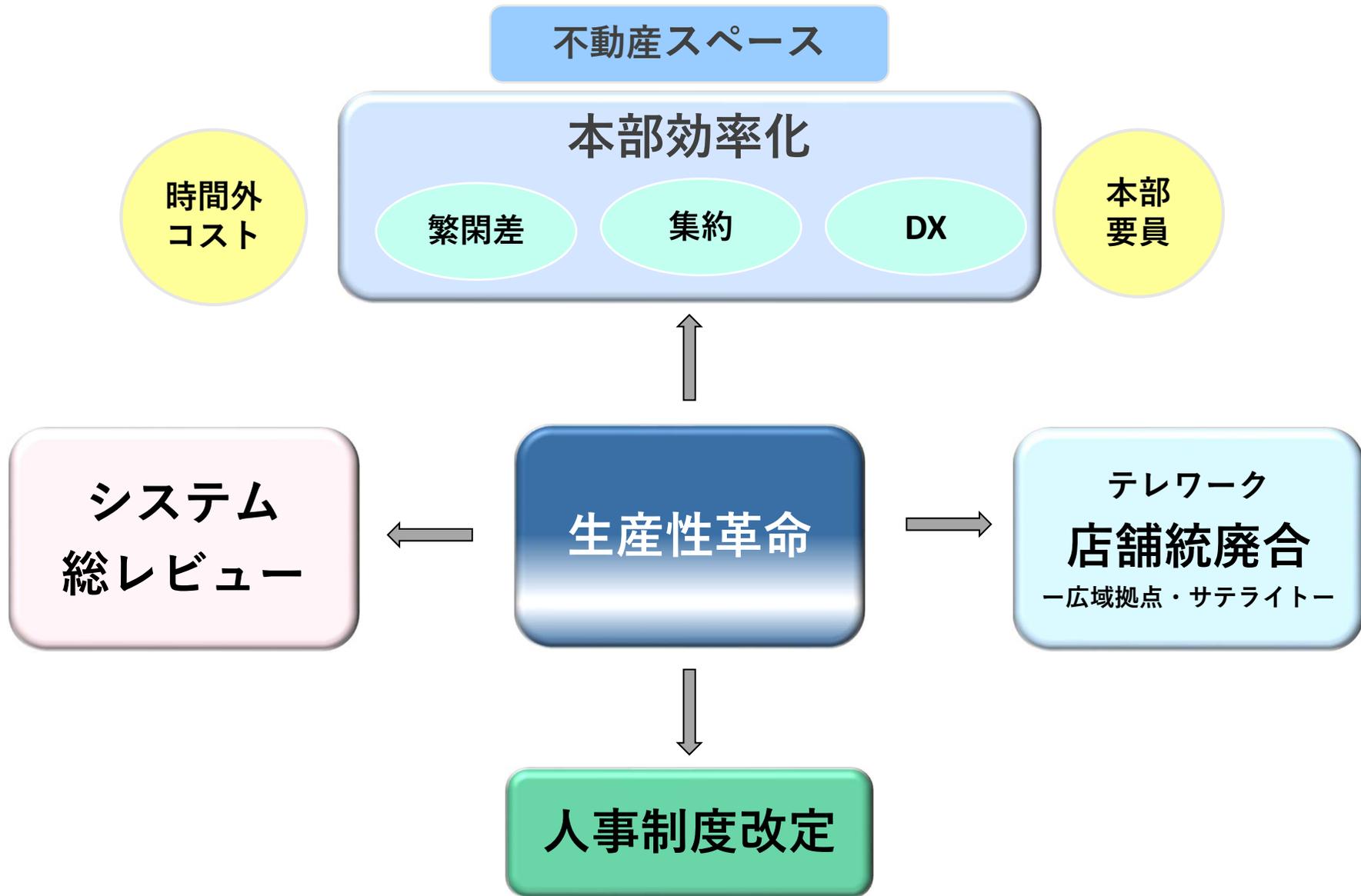


東海東京証券のIFA業者数の推移



III. 東海東京証券の収益力の強化

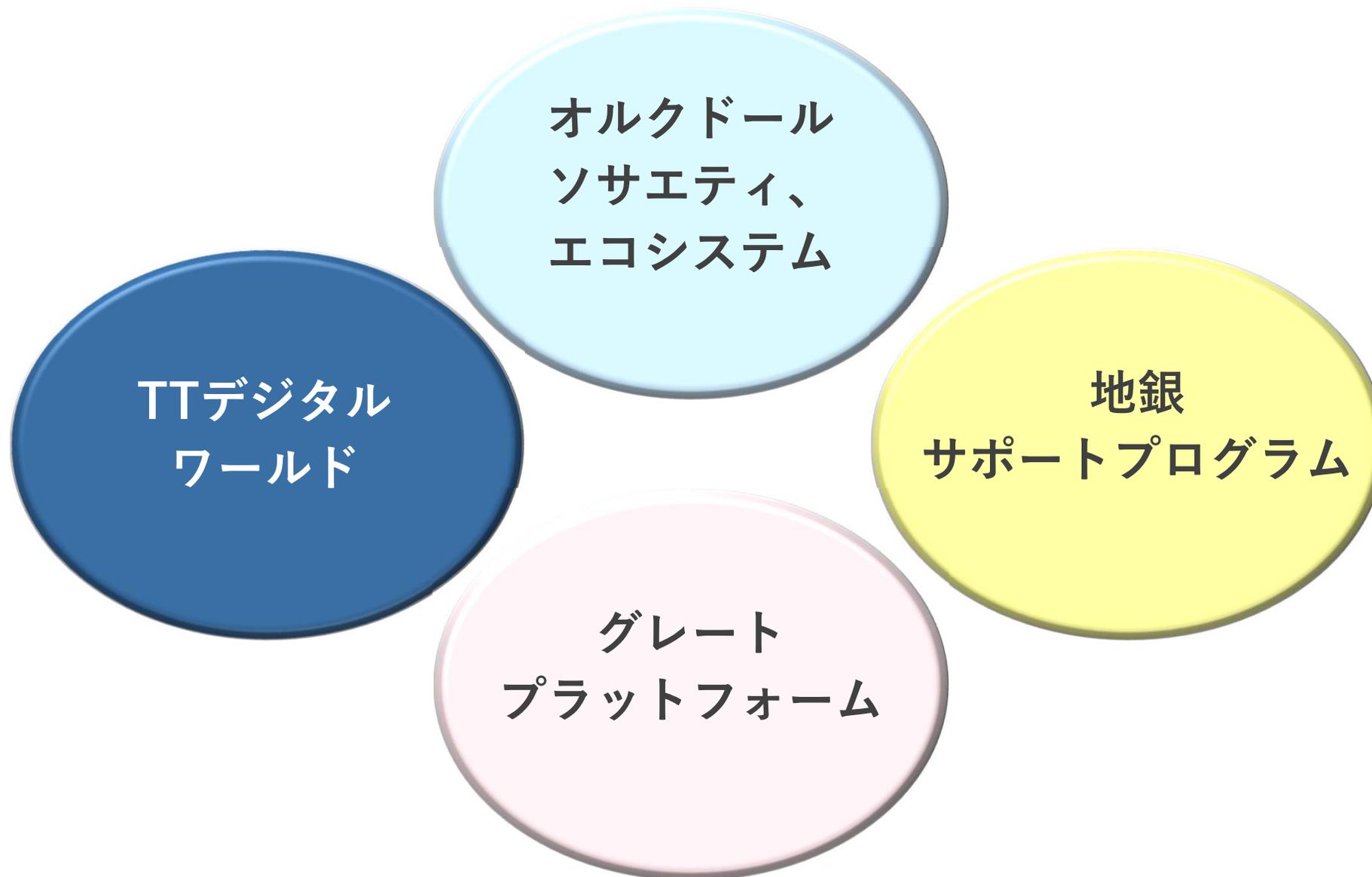
7. 生産性革命



IV. 4つの未来戦略

IV. 4つの未来戦略

1. 全体像



IV. 4つの未来戦略

2. オルクドール

オルクドール・サロンTOKYO

2019年オープン



オルクドール・サロン (名古屋)

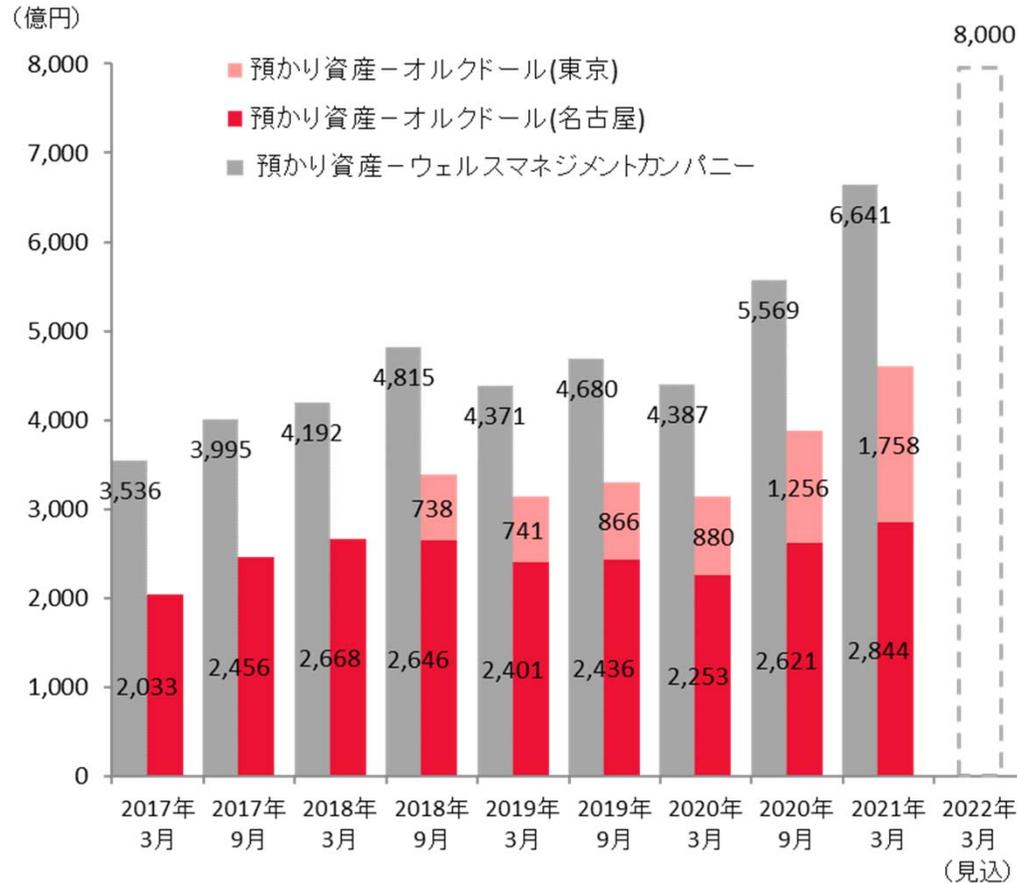
2016年オープン



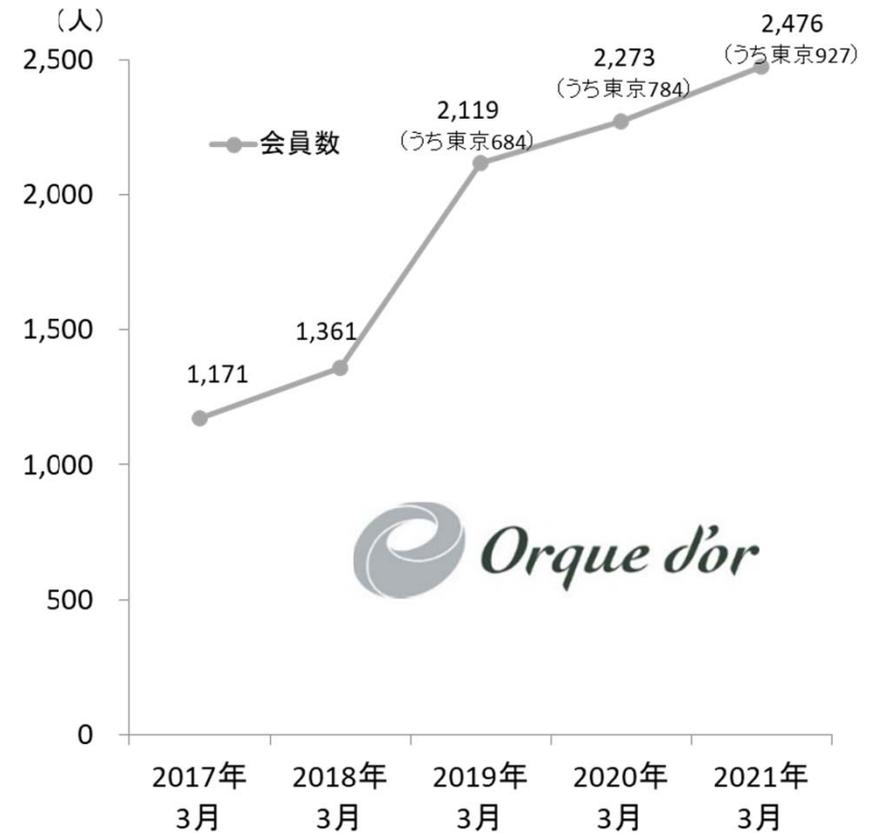
IV. 4つの未来戦略

2. オルクドール

預かり資産の推移



会員の推移

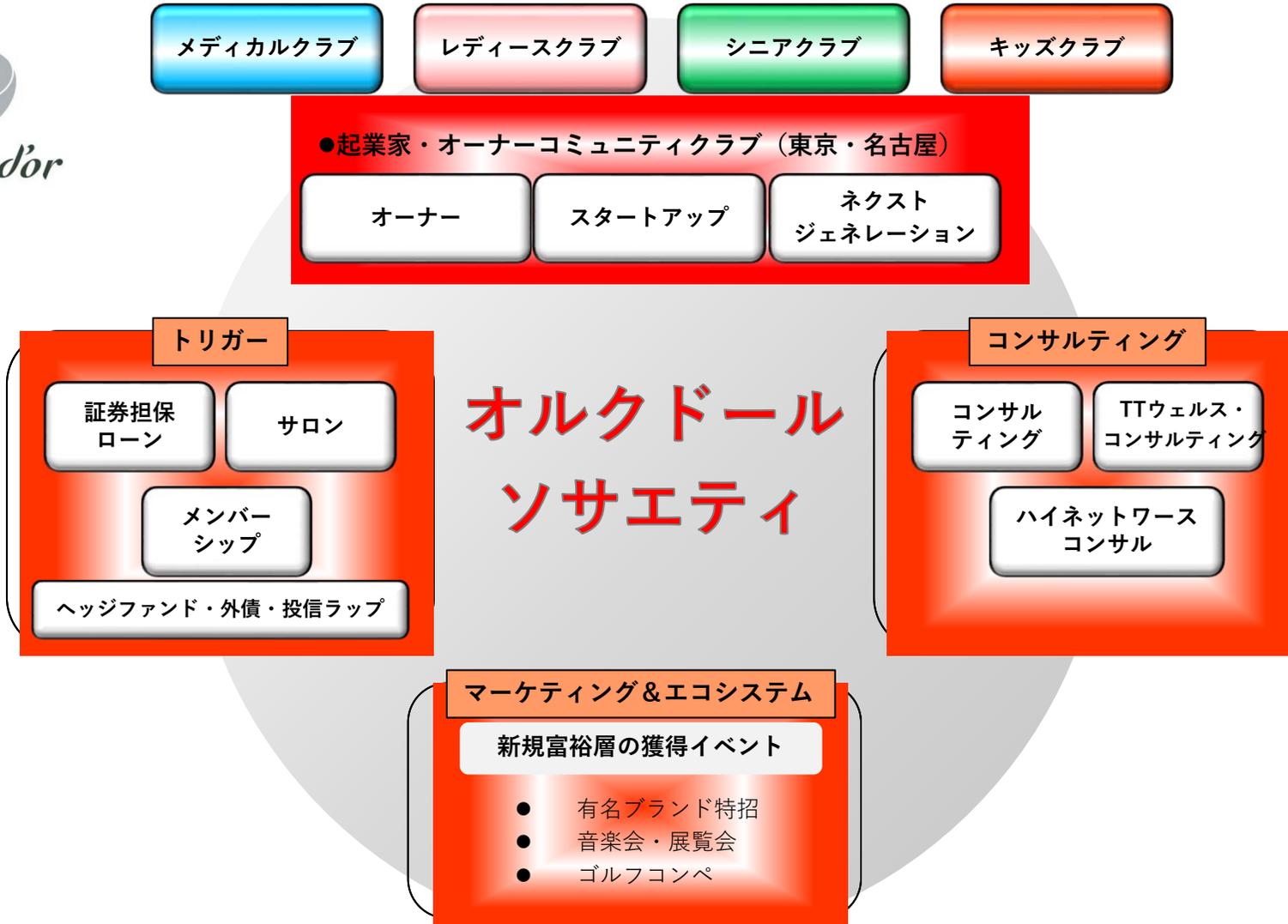


IV. 4つの未来戦略

3. オルクドールソサエティ



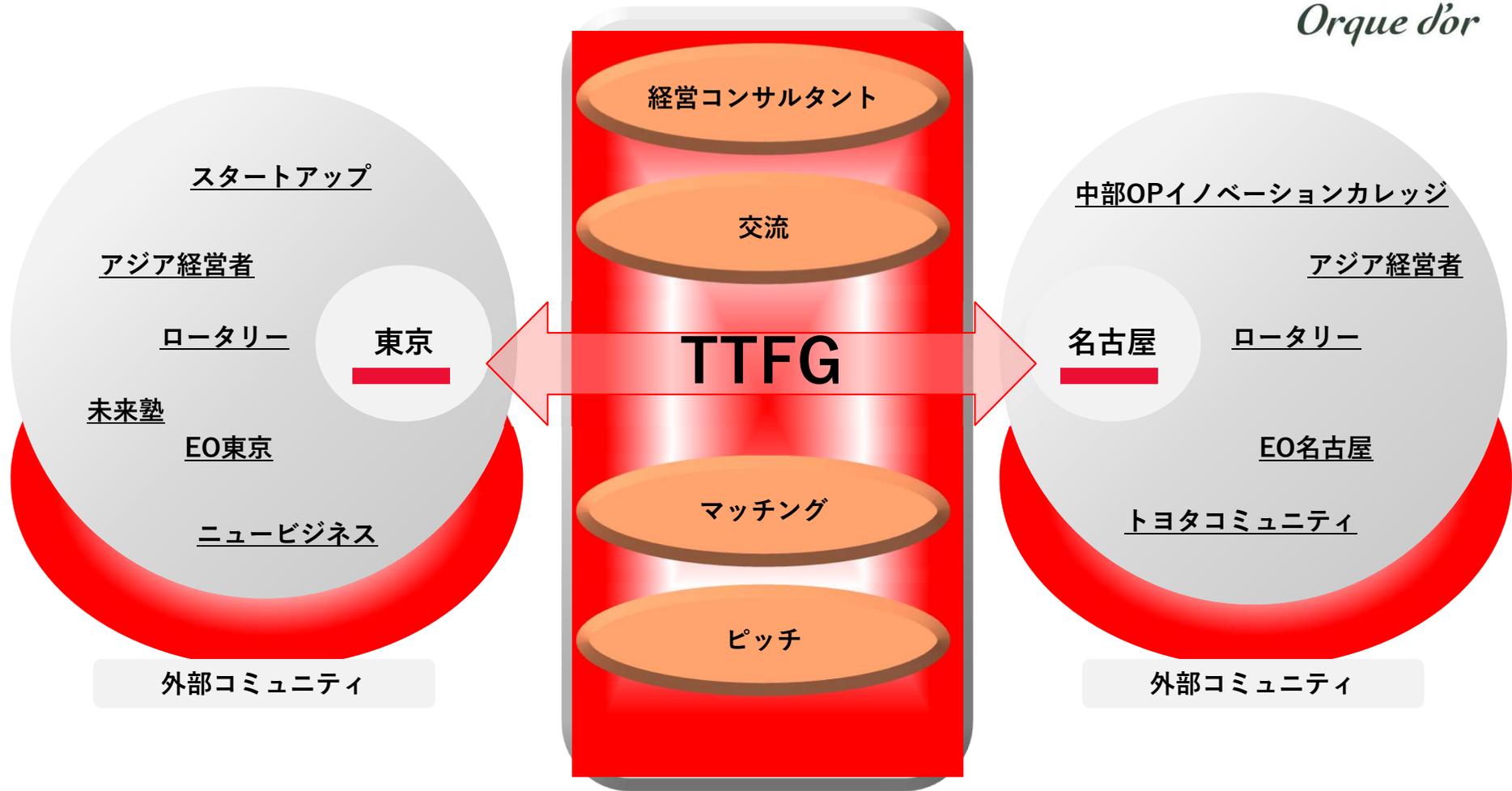
オルクドールソサエティ



IV. 4つの未来戦略

3. オルクドールソサエティ

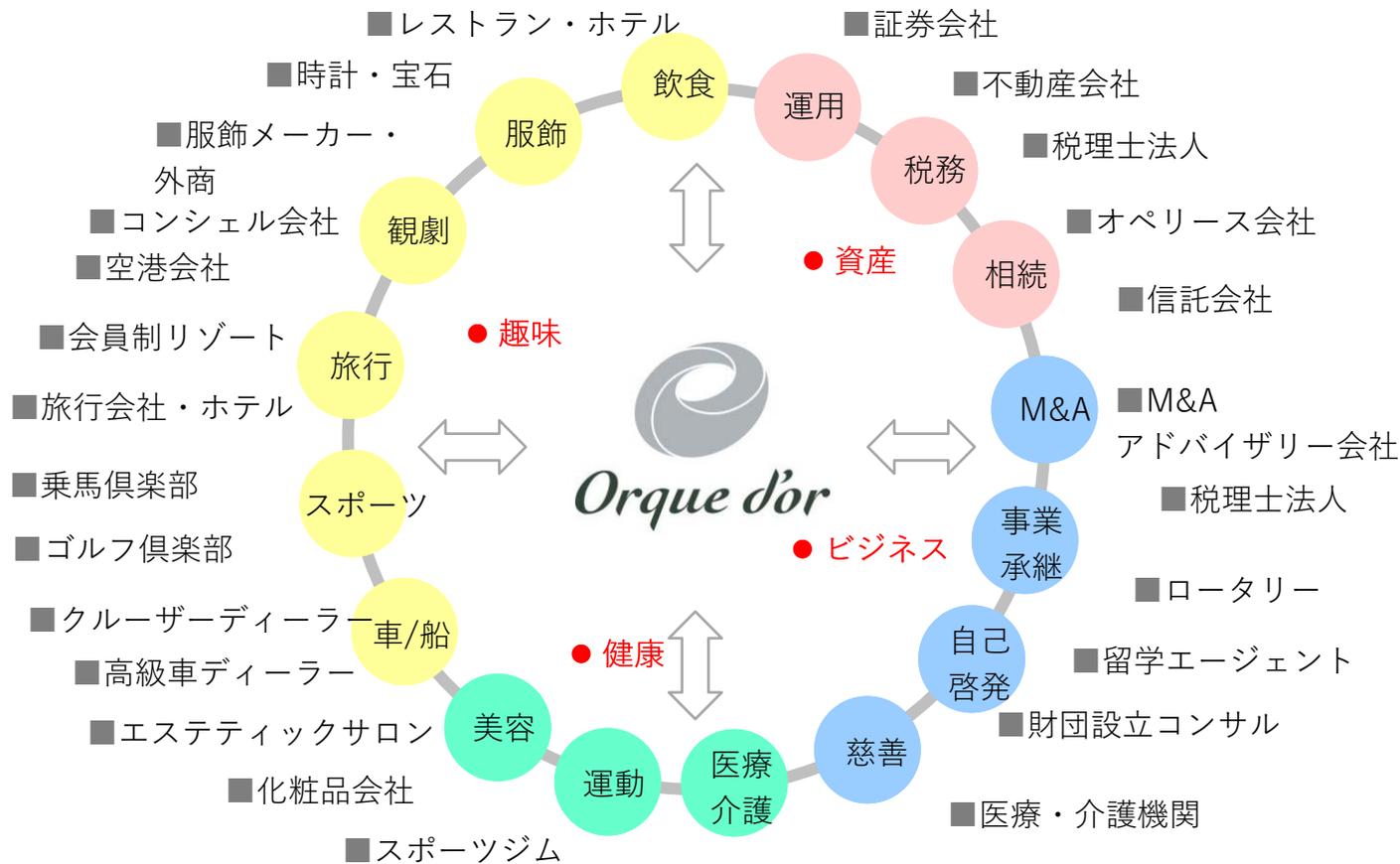
オルクドールソサエティ



IV. 4つの未来戦略

4. オルクドールエコシステム

オルクドールエコシステム

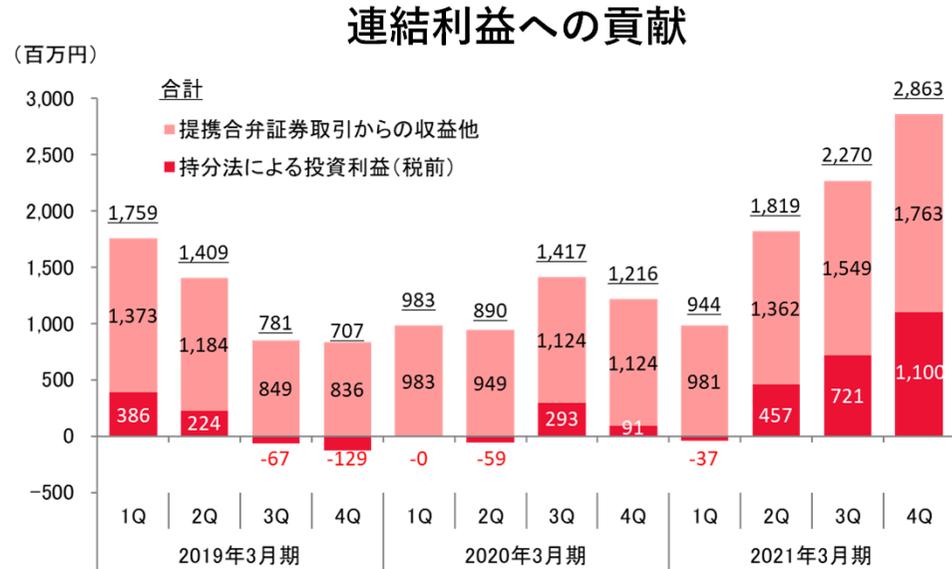
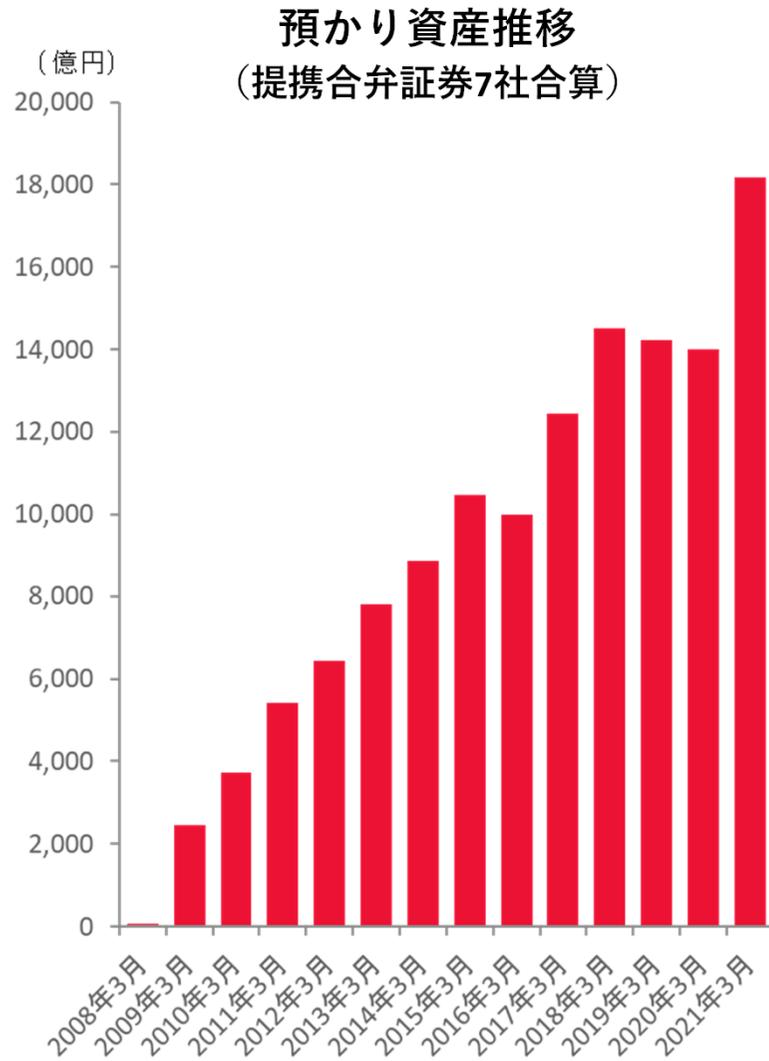


- 百貨店
- 高級ホテル
- 税理士ネットワーク
- シェアリングファシリティ
-
-
-

IV. 4つの未来戦略

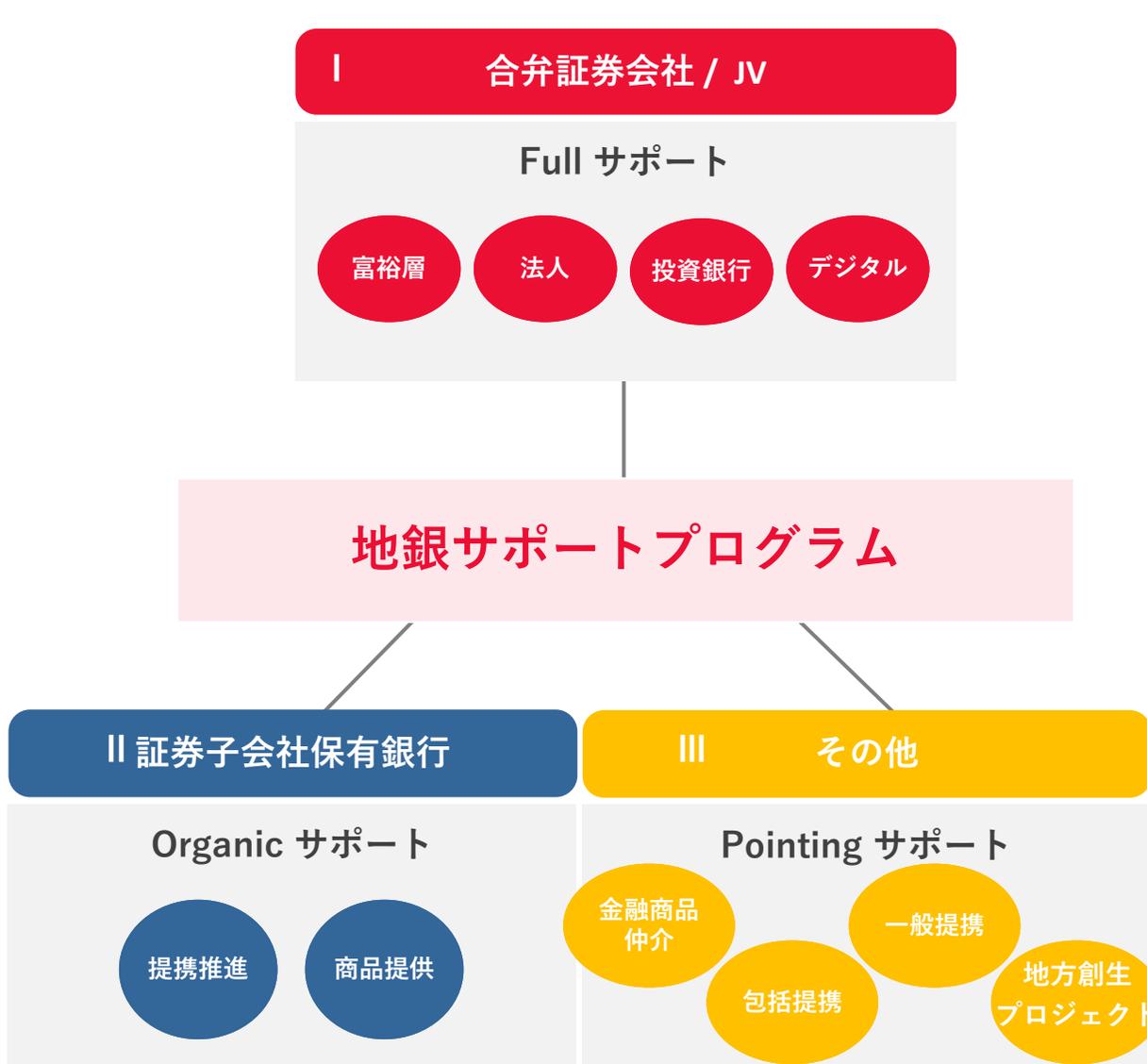
6. 提携合併証券の拡大

地方銀行との提携合併証券 (JV)



IV. 4つの未来戦略

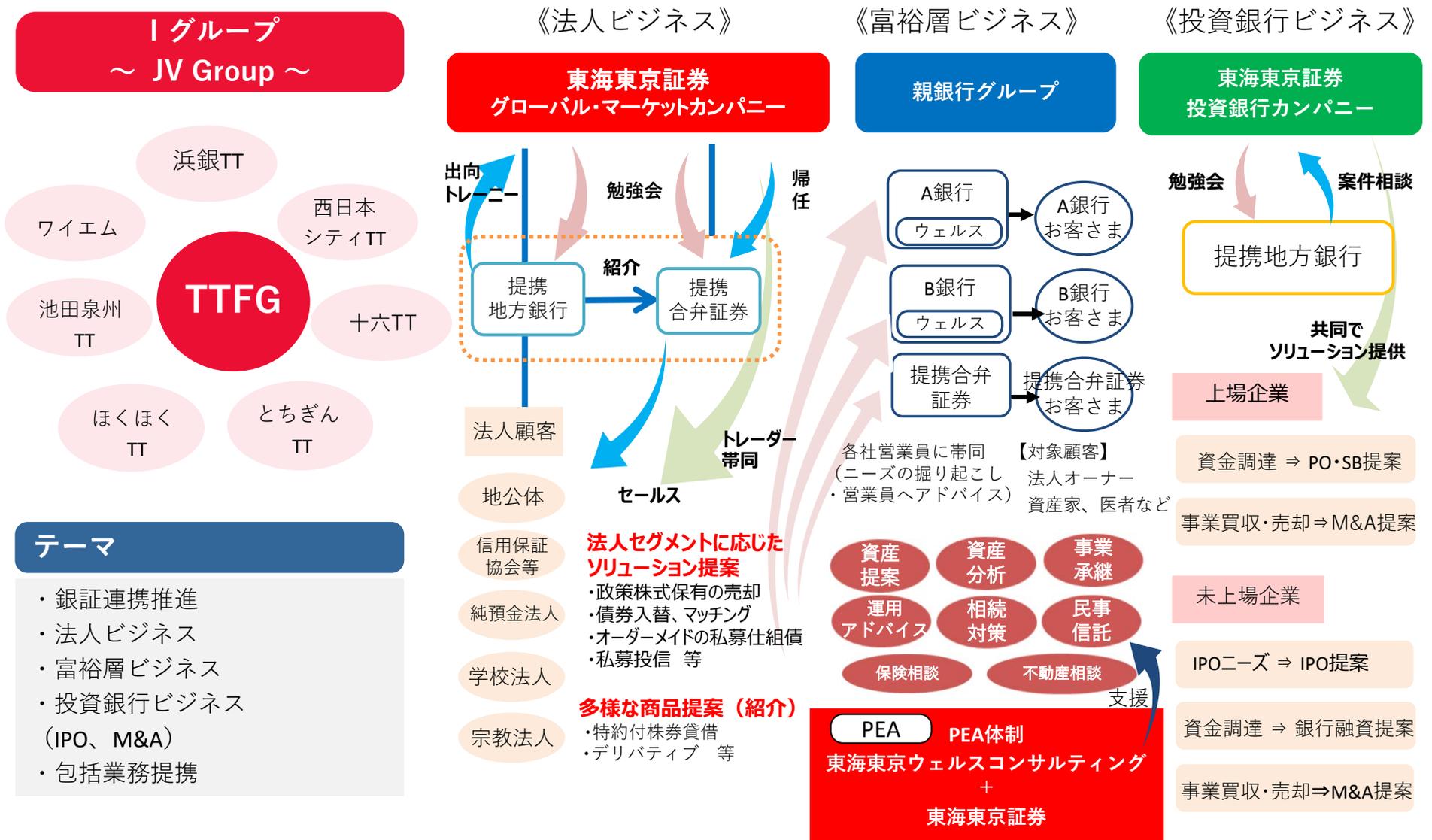
7. 地銀サポートプログラム



項目	I	II	III
証券 (JV、IFA)	◎	○	○
法人ビジネス (資金運用、デリバティブ)	◎	◎	◎
資産運用 (有価証券運用、リスク管理)	○	○	◎
富裕層 (PEA)	◎	◎	○
Fintech (スマホ証券、お金のコンパス等)	○	○	○
地方創生 (地域通貨、STO)	○	○	○
保険	○	○	○
事業承継	○	○	○
教育・人材	◎	◎	—
コンプラ、内部管理	◎	◎	—
マーケティング手法 (データベース、セグメンテーション)	◎	○	—
民事信託	◎	◎	◎
情報・分析	◎	◎	○
企業金融 (IPO等)	◎	◎	◎

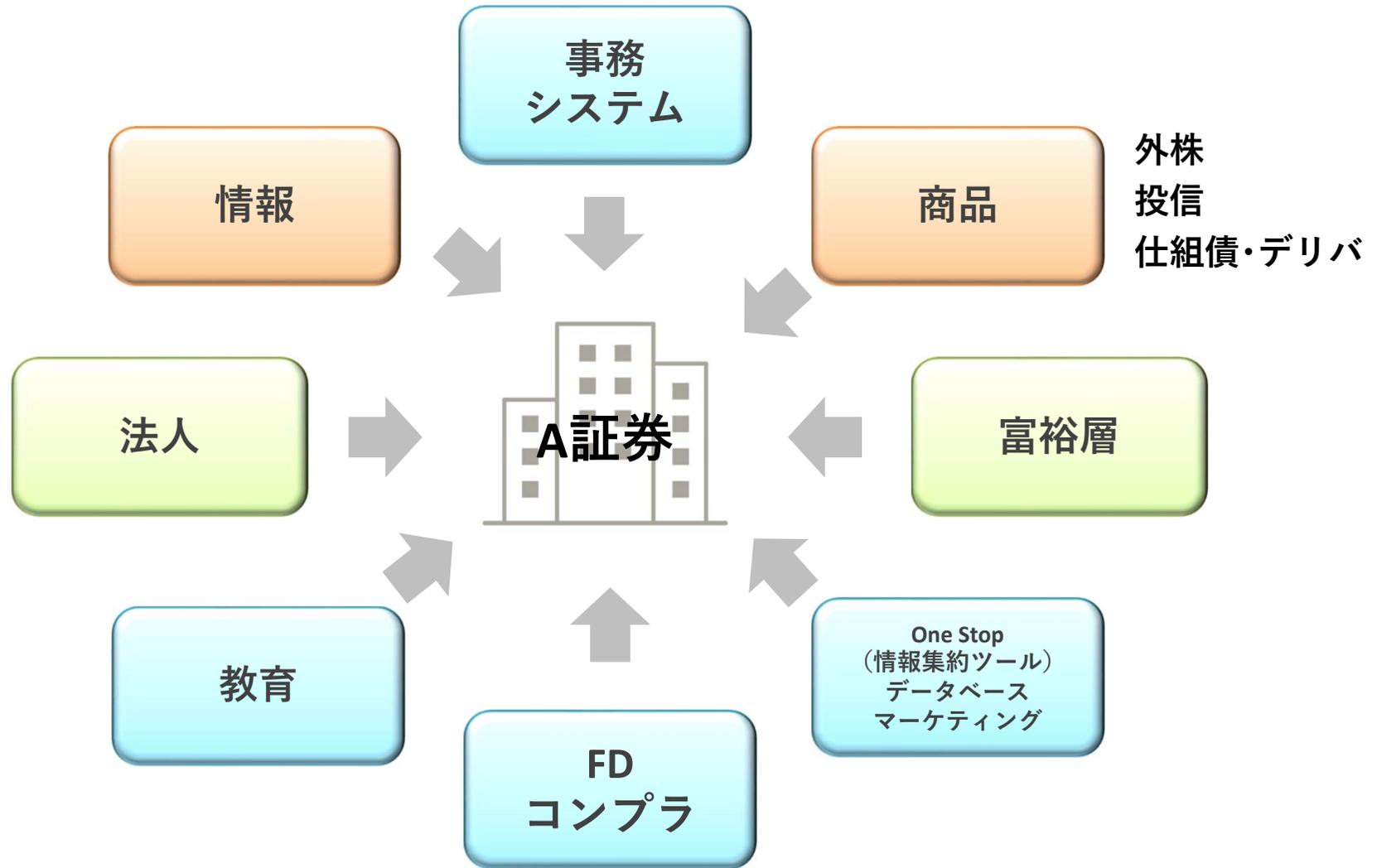
IV. 4つの未来戦略

7. 地銀サポートプログラム「Iグループ」に対する提供機能



IV. 4つの未来戦略

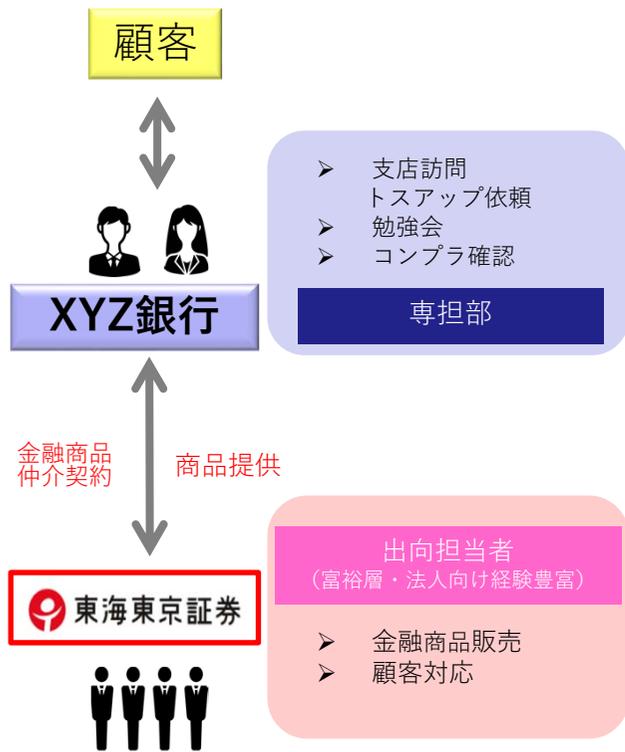
7. 地銀サポートプログラムー「IIグループ」に対する提供機能



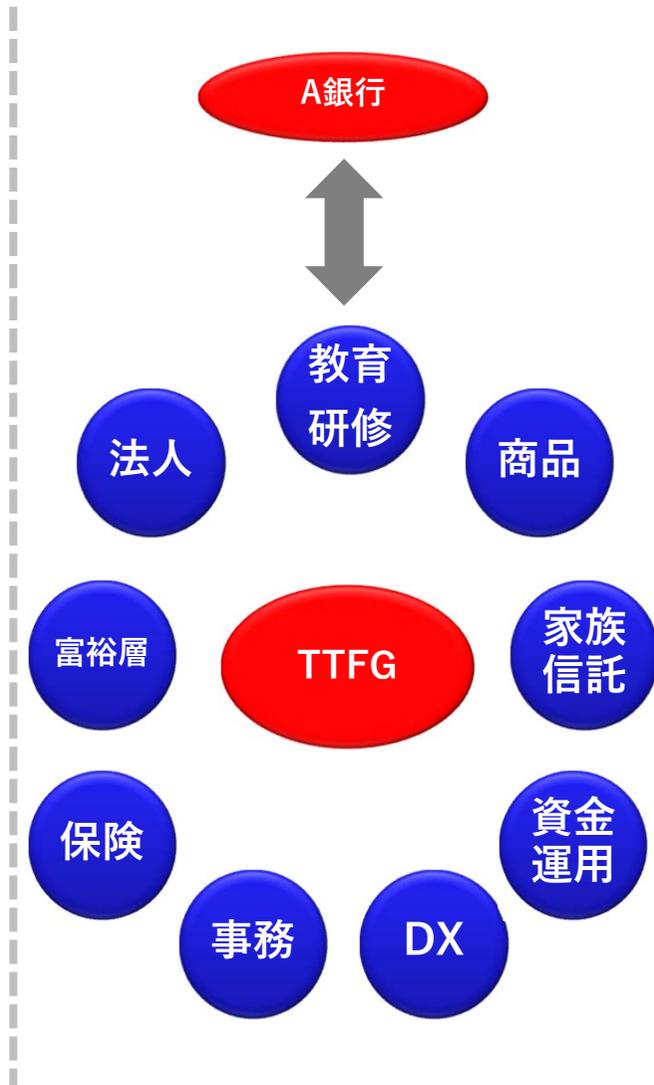
IV. 4つの未来戦略

7. 地銀サポートプログラム「IIIグループ」に対する提供機能

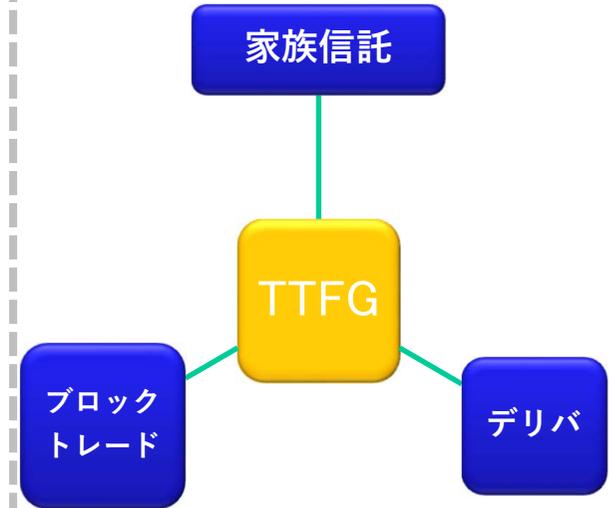
①金融商品仲介スキーム



②包括提携



③一般提携



IV. 4つの未来戦略

8. TTデジタルワールド

デジタルライゼーションへの取り組み ～経済産業省 DX2020 採用～



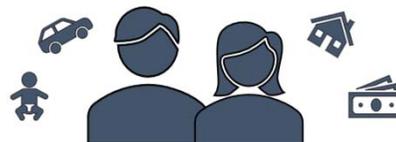
3.0 証券準備株式会社

- 株式／投資信託／債券
- ポイント投資
- 暗号資産・地域通貨
- セキュリティ・トークン
- 証券担保ローン／無担保ローン
- 銀行スイープ機能

マネーコンパス・ジャパン

- 家計簿
- 資産管理アグリゲーション
- ライフプランニング
- おつり投資
- ロボアドバイザー
- 保険・年金管理

次世代向け 金融サービスツール



Hash Dash
システム開発
(ブロックチェーン)

ICHX
(デジタル証券取引所)

Huobi Japan
(暗号資産交換業)

お金のデザイン
(ロボアドバイザー)

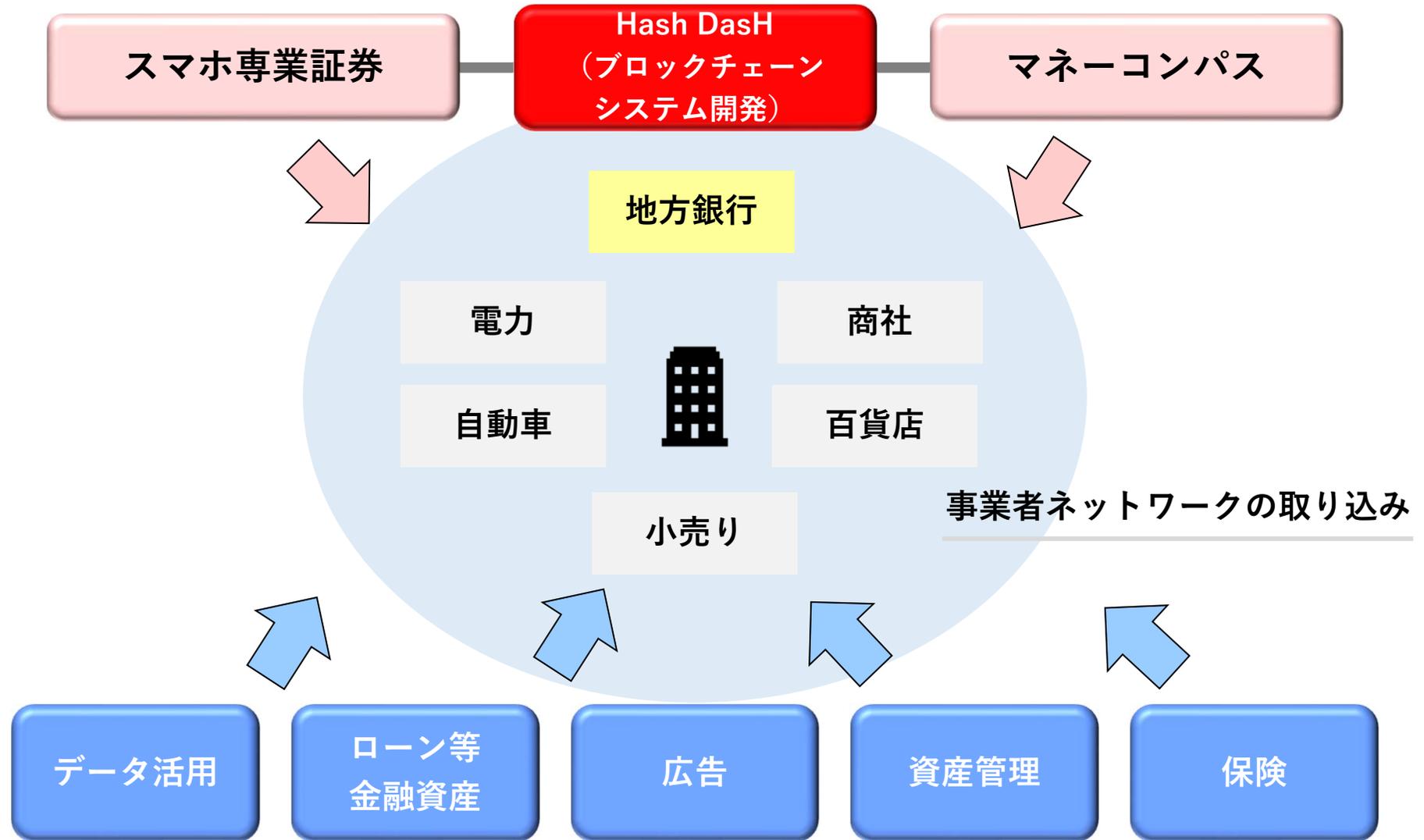
TORANOTEC
(おつり投資)

Xenodata labs
(SaaS型AIサービス)

Digital Platformer
(デジタル通貨)

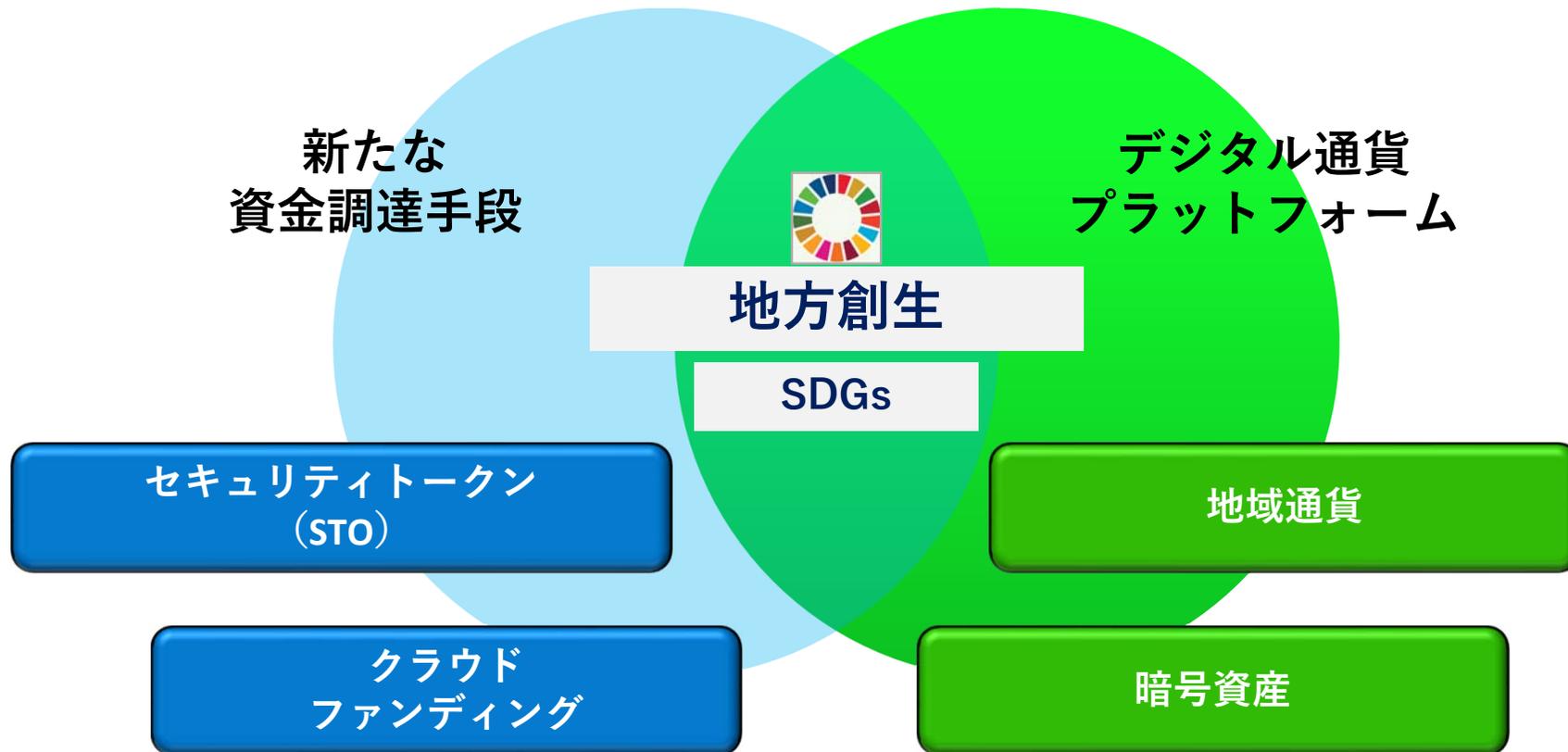
IV. 4つの未来戦略

8. TTデジタルワールド+グレートプラットフォーム



IV. 4つの未来戦略

9. グレートプラットフォーム



V.経営計画「New Age's Flag Bearer5 ～新時代の旗手」を目指して

V.経営計画

「New Age's Flag Bearer5 ～新時代の旗手～」を目指して

更なる経営基盤の強化と成長

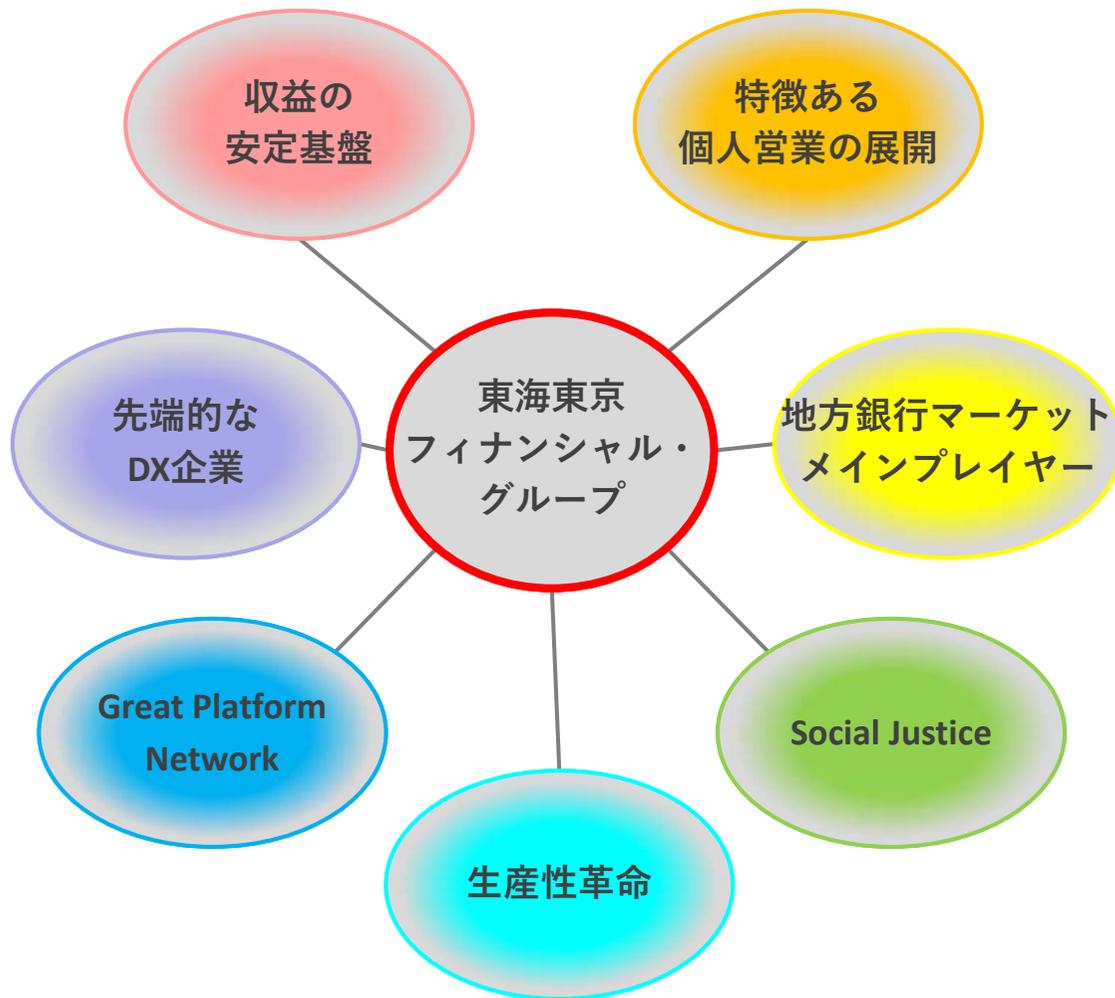
最終KGI



	目標	2021年度 3月期
ROE	10%	5.6%
経常利益	300億円	125億円
グループ 預かり資産	10兆円	7.1兆円

V.経営計画

「New Age's Flag Bearer5 ～新時代の旗手」を目指して

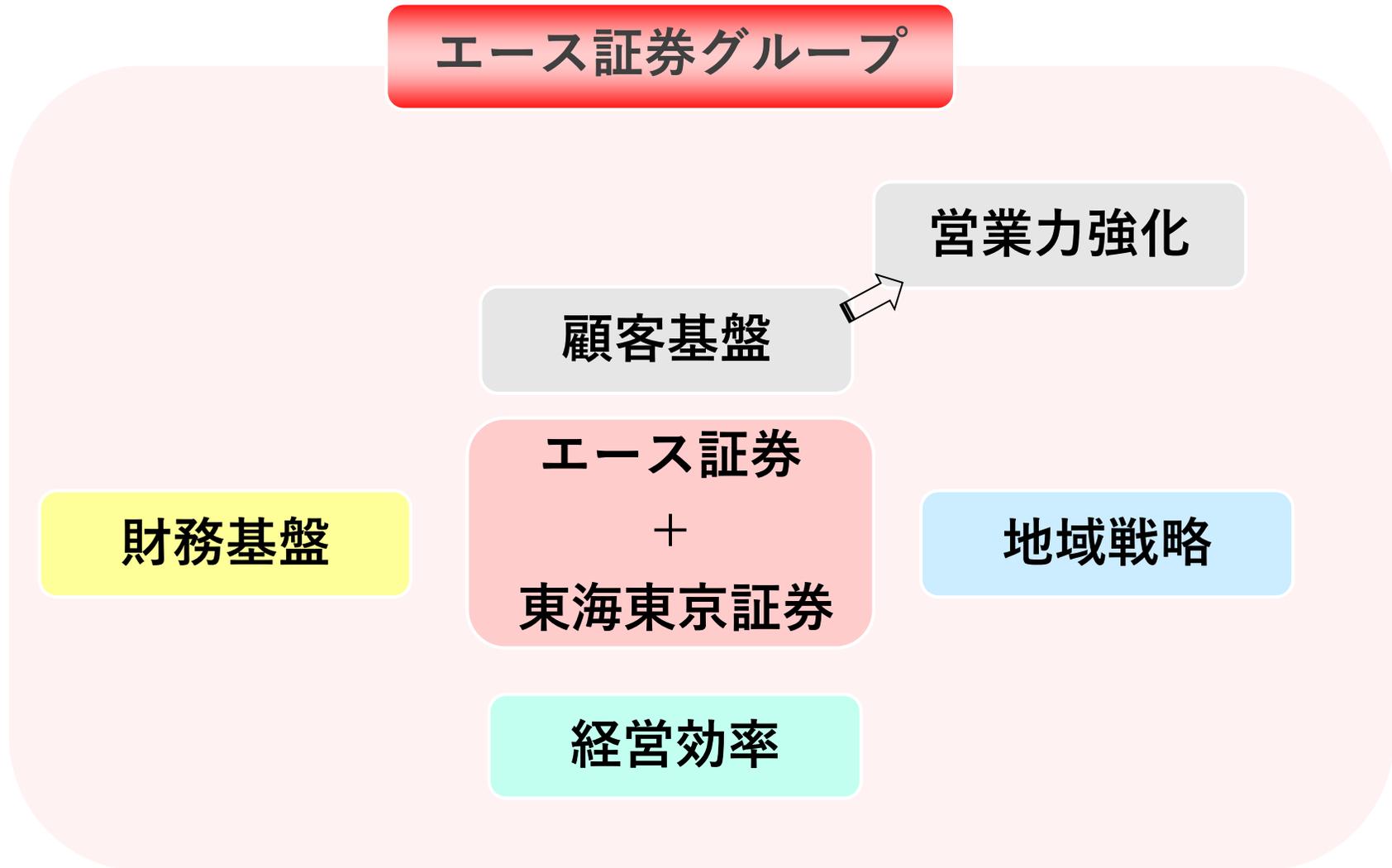


本経営計画で残る課題
同業他社M & A / エース証券子会社化 (4月)
銀行機能
資産運用会社
多様な年金・保険機能
海外戦略



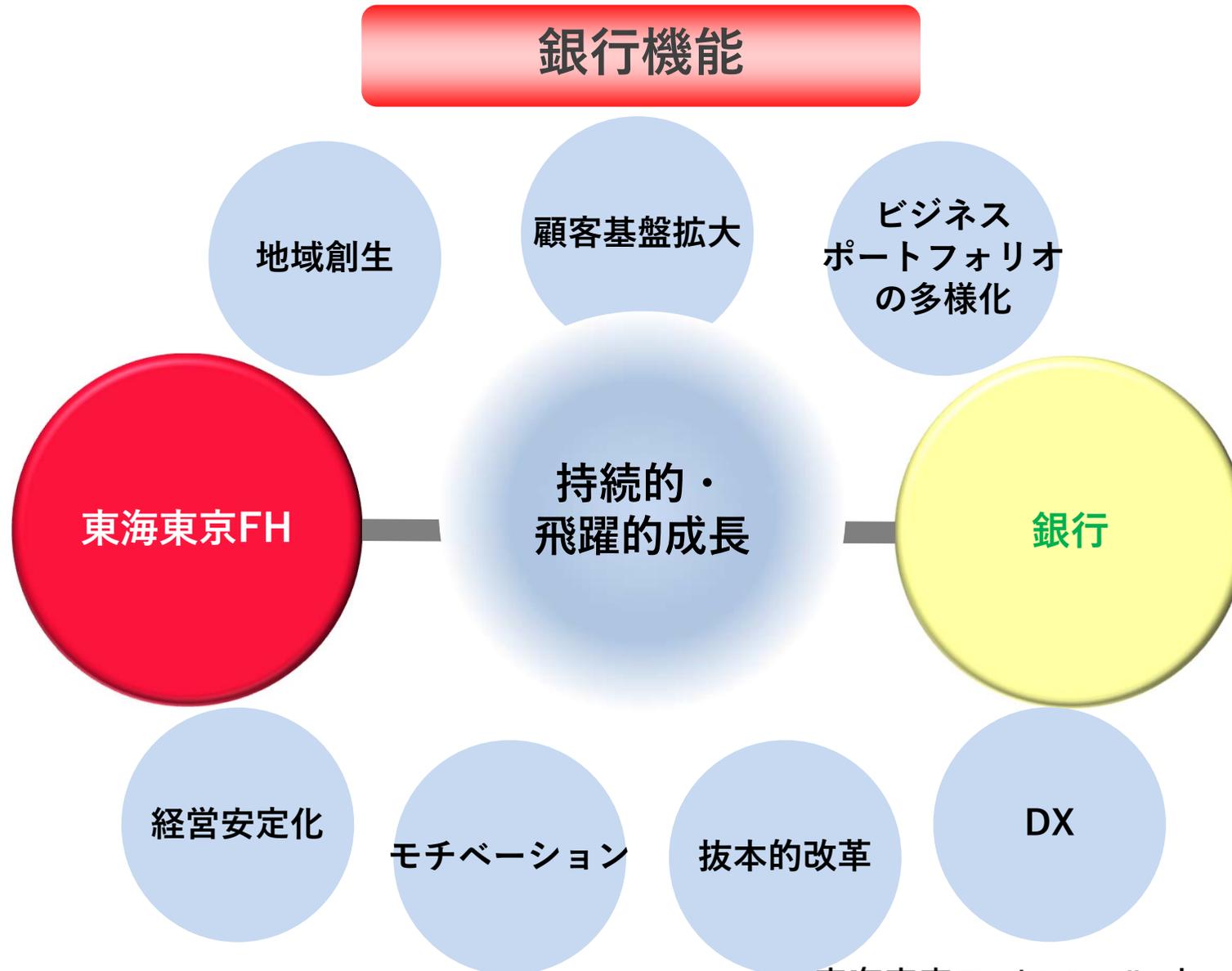
V. 経営計画

1. 本経営計画で残る課題：同業他社M&A



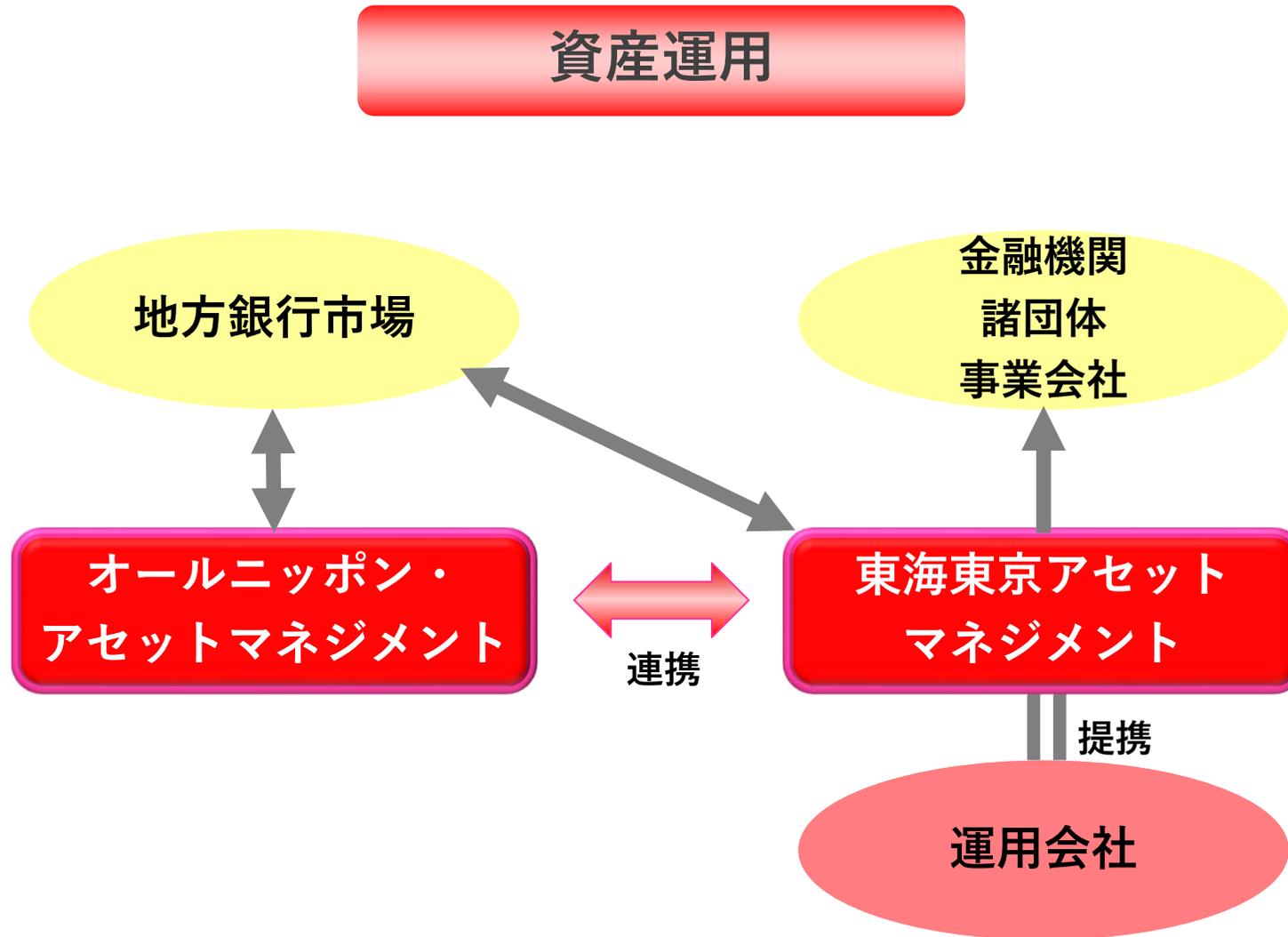
V. 経営計画

1. 本経営計画で残る課題：銀行機能



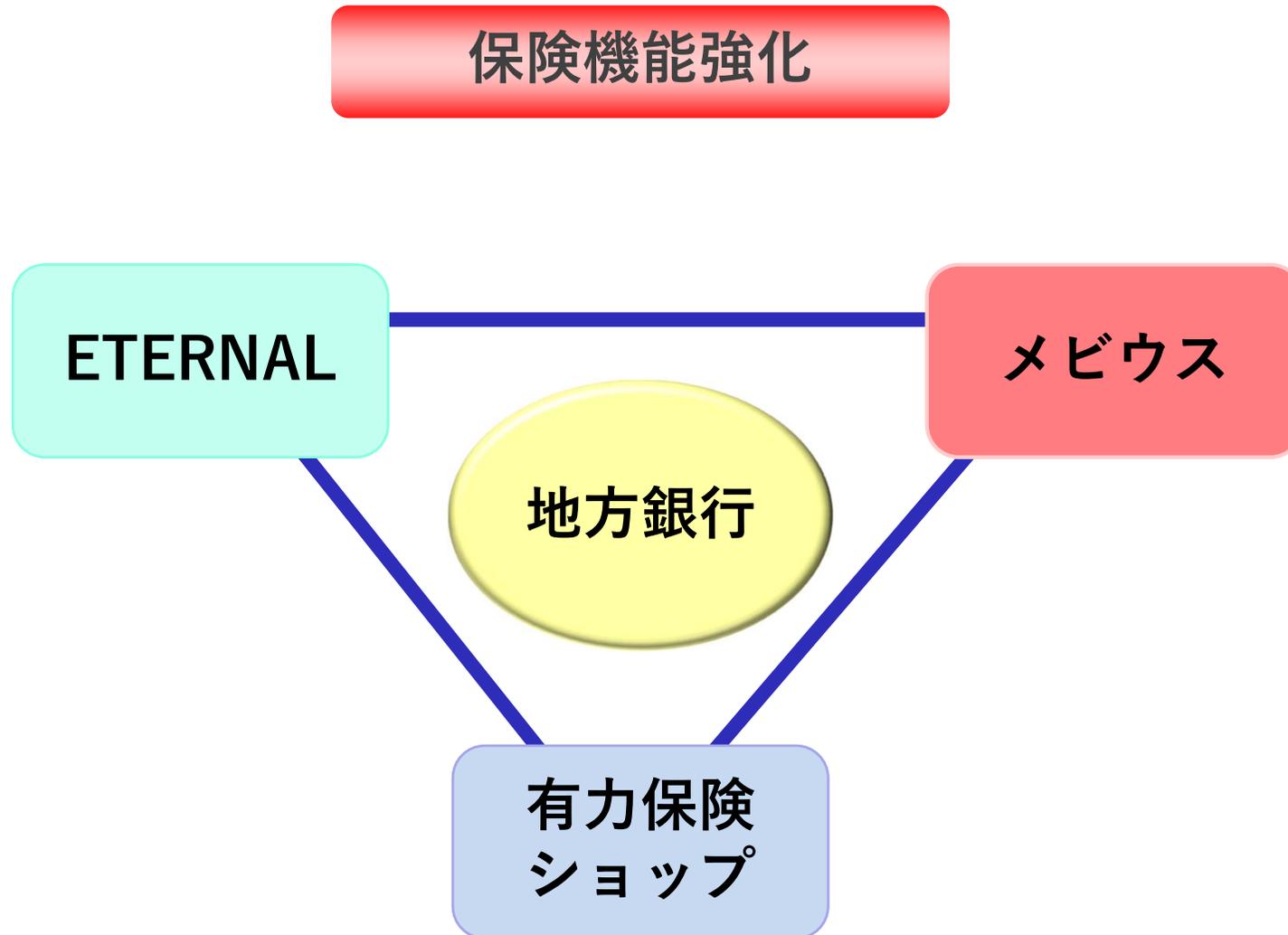
V. 経営計画

1. 本経営計画で残る課題：資産運用会社



V. 経営計画

1. 本経営計画で残る課題：多様な年金・保険機能



VI. SDGsへの取り組み

VI. SDGsへの取り組み

エネルギー・気候

- ・グリーンボンド発行支援者
- ・社会貢献型債券の取扱い
(グリーンボンド、
ウォーターボンド)
- ・高効率照明、
高効率空調への切替
- ・低燃費車への入替
- ・グリーン電力の活用 (予定)

当社グループの重要課題

1. 健康



2. 教育と働き方



3. 金融イノベーション



4. 地域経済



5. 環境保全



地域

- ・有力地方銀行との
連携強化による地方創生
- ・災害支援活動
- ・スポーツ支援
- ・文化、芸術活動への協賛
- ・東海東京財団を通じた
祭礼行事伝承助成

VI. SDGsへの取り組み

当社グループが外部より認定・表彰を受けている一覧



新ダイバーシティ経営企業100選
[経済産業省]



健康経営優良法人
[経済産業省]



えるぼし
[厚生労働省]



グッドキャリア企業アワード
[厚生労働省]



東京都女性活躍推進大賞
[東京都]



スポーツエールカンパニー
[スポーツ庁]



あいち女性輝きカンパニー
[愛知県]



東京都スポーツ推進企業
[東京都]



名古屋市女性の活躍推進企業
[名古屋市]



ワーク・ライフ・バランス推進企業
[名古屋市]



DX注目企業2020
[経済産業省]



名古屋市子育て支援企業
[名古屋市]

VII. 株主還元

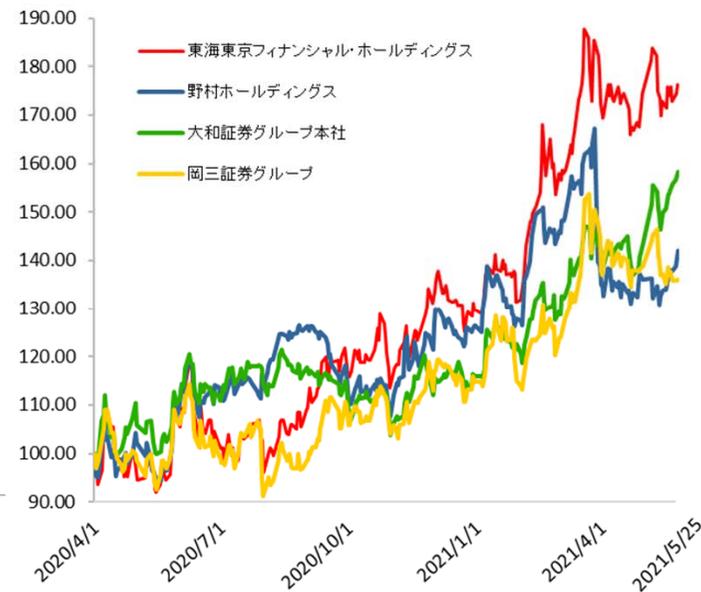
VII. 株主還元

当社株価の推移と配当実績

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株価



証券各社株価推移 (2020年4月1日終値 = 100で算出)



	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金(円)	14.00	14.00	12.00	14.00	14.00	24.00	12.00	4.00	4.00	4.00	8.00	14.00
配当利回り ※1	4.0%	4.5%	4.9%	4.5%	4.2%	5.2%	3.7%	4.0%	2.7%	3.3%	5.9%	6.9%
配当性向 ※2	47.4%	59.7%	71.2%	56.9%	63.2% ※3	69.7% ※3	101.3%	382.8%	156.2%	72.5%	73.6%	60.1%

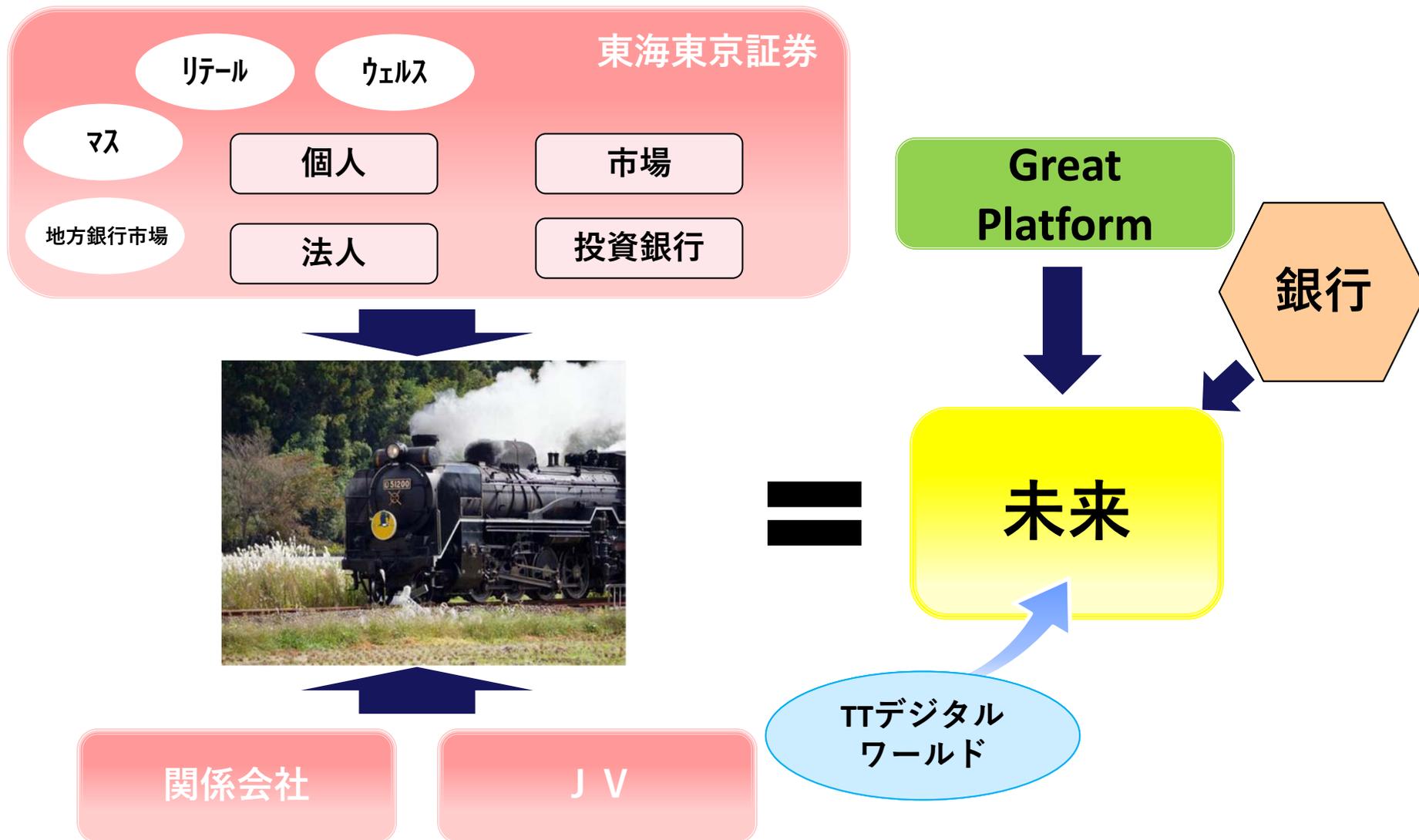
※1 配当利回りは各期末の株価に基づき算出、半期毎の配当金を年率換算して表記。 ※2 期末における配当性向は年間の配当金額(=中間+期末)に対する年間純利益として算出。

※3 統合に係る連結会計上の一過性損益である「負ののれん発生益」を除いて算出。

VIII. 新時代の旗手に向かって

VIII. 新時代の旗手に向かって

1. ロコモティブプログラム



VIII. 新時代の旗手に向かって

2. 当社グループ20年の変遷：業績ランキングの変化

純営業収益の推移

2001年3月期			2020年3月期			2021年3月期		
順位	社名	収益(億円)	順位	社名	収益(億円)	順位	社名	収益(億円)
1	野村	11,382	1	野村	12,878	1	野村	14,018
2	大和	7,181	2	大和	4,262	2	大和	4,666
3	日興	4,425	3	三菱UFJ	3,221	3	みずほ	3,736
4	新光	1,354	4	SMBC日興	3,160	4	SMBC日興	3,579
5	国際	905	5	みずほ	2,820	5	三菱UFJ	3,376
6	つばさ	717	6	SBI	1,134	6	SBI	1,491
7	岡三	522	7	岡三	640	7	マネックス	736
8	みずほインベ	424	8	東海東京	597	8	楽天	694
9	東海東京	390	9	楽天	535	9	東海東京	670 (786) ※
10	さくらフレンド	251	10	マネックス	479	10	岡三	661

※TTFH+ 提携合併証券を所持比率で擬似連結

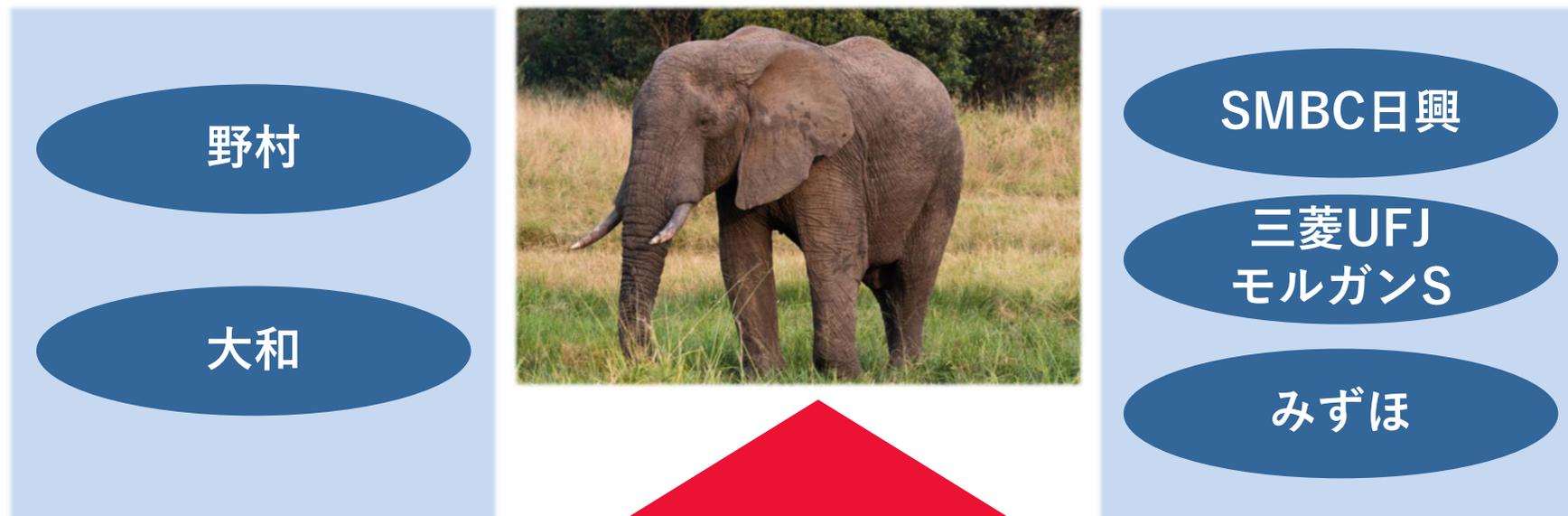
個人営業の強さ

※大手A証券営業収益
(個人営業部門)
を100とした場合

TTFH (東海東京証券/個人営業 + 提携合併証券)	2016年3月期	2021年3月期
	28%	38%

VIII. 新時代の旗手に向かって

3. 5頭の巨象へ



東海東京フィナンシャル・グループ

“New Age’s, Flag Bearer 5”

MEMO

問合せ先

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
広報・IR室

TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314

E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。